

飯田市議会要覧

平成 24 年 6 月

飯田市議会事務局

飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいにはげましあい、手をとりあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

(昭和52年6月21日 制定)

目 次

I	沿 革	
1	沿 革	2
2	人口と世帯の推移	4
3	市議会議員選挙執行状況	5
4	歴代市議会議員	
	(1) 歴 代 議 長	6
	(2) 歴 代 副 議 長	7
	(3) 歴代総務文教常任委員会正副委員長	8
	(4) 歴代社会常任委員会正副委員長	9
	(5) 歴代産業経済常任委員会正副委員長	10
	(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長	11
	(7) 歴代議会運営委員会正副委員長	12
	(8) 歴代監査委員（議会選出）	13
	(9) 歴代事務局長	14
	(10) 歴代市議会議員	15
II	市議会の構成	
1	構 成	21
2	議 員 名 簿	23
3	正副議長・各委員会委員名簿	24
4	監査委員・南信州広域連合議会議員	24
5	議会選出の各種委員等	25
6	各会派及び各派の代表者氏名	26
III	1年間の活動	
1	市議会の活動状況	27
2	報酬・その他	83
3	定期刊行物	84
4	市議会会議録	84
5	議会事務局の事務分掌	85
	参 考 資 料	
	◎ 平成24年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要	86
	◎ 飯田市行政組織機構図	94
	◎ 職 員 の 定 数	96
	◎ 都 市 宣 言	97
	◎ 市政提携に関する覚書	101
	◎ 友好都市締結	101
	◎ 飯田市の主要年表	102
	◎ 飯田市自治基本条例	112

I 沿革

1-1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を發し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らし易い温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懐に抱かれる遠山郷までにわたる658.76km²の市域に104,291人（平成24年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、近年は防火モデル都市、文化都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、名勝天龍峡の地、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には山本IC～天龍峡IC間が開通し、平成29年度末の全線開通を目指して建設が進行している。

さらに、リニア中央新幹線飯田駅の建設も現実味を帯びてきたおり、三遠南信地域連携ビジョンや道州制の取り組みともあいまって、首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割は大きくなる。

1-2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決、以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経た。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」他5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減した。また、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の近年の取り組みとして最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である。（平成19年4月施行）

その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月20日には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を発足、条例の制定に向けて研究に入り、同年12月28日にその成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。翌17年5月には自治基本条例特別委員会を設置、2度にわたる地区懇談会や、議会によるパブリックコメントの実施を経て、平成18年9月21日に議会議案として提案され、全会一致で可決された。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」が、平成21年度から開かれた議会を実現するための「議会報告会」がそれぞれスタートした。

また、平成23年1月から、条例中の「議会の役割」について議会による検証が開始され、平成24年3月には、これまでの検討を踏まえ「議会改革・運営ビジョン」を取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置し、新たな議会改革の取り組みに着手した。

なお、飯田市自治基本条例への取り組みについては、平成23年度末までに129団体、1,317人が視察に訪れている。



人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。

2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km²)

年 月	世帯数	人口	男	女	面積
昭和31. 9	14,627	69,235			199.78
昭和36. 3	16,018	69,538			206.07
昭和39. 3	19,179	79,541			293.03
昭和54. 4	20,870	77,860	36,794	41,066	〃
昭和55. 4	21,054	78,151	36,853	41,098	〃
昭和56. 4	21,697	78,306	37,018	41,288	〃
昭和57. 4	22,114	78,693	37,368	41,325	〃
昭和58. 4	21,928	78,410	37,059	41,351	〃
昭和59. 4	21,872	78,665	37,331	41,334	〃
昭和60. 4	26,458	92,132	43,776	48,356	299.23
昭和61. 4	26,469	92,096	43,709	48,387	〃
昭和62. 4	26,573	92,179	43,783	48,396	〃
昭和63. 4	26,709	92,050	43,810	48,240	〃
平成 1. 4	26,824	91,846	43,778	48,068	〃
平成 2. 4	27,033	91,806	43,721	48,085	298.90
平成 3. 4	27,277	91,723	43,739	47,984	〃
平成 4. 4	27,467	91,612	43,695	47,917	〃
平成 5. 4	27,732	91,684	43,819	47,865	〃
平成 6. 4	32,507	106,104	50,754	55,350	325.35
平成 7. 4	32,829	106,233	50,841	55,392	〃
平成 8. 4	33,183	106,472	50,991	55,481	〃
平成 9. 4	33,577	106,495	50,971	55,524	〃
平成10. 4	33,975	106,695	51,142	55,553	〃
平成11. 4	34,233	106,464	51,093	55,371	〃
平成12. 4	34,519	106,479	51,135	55,344	〃
平成13. 4	34,870	106,456	51,093	55,363	〃
平成14. 4	35,056	106,161	50,947	55,214	〃
平成15. 4	35,382	106,078	50,893	55,185	〃
平成16. 4	35,656	105,846	50,728	55,118	〃
平成17. 4	35,807	105,411	50,511	54,900	〃
平成18. 4	37,190	107,593	51,640	55,953	658.76
平成19. 4	37,395	106,993	51,253	55,740	〃
平成20. 4	37,787	106,770	51,138	55,632	〃
平成21. 4	37,682	105,867	50,693	55,174	〃
平成22. 4	37,801	105,372	50,407	54,965	〃
平成23. 4	37,886	104,771	50,146	54,625	〃
平成24. 4	38,087	104,291	49,931	54,360	〃

特記事項

- ・昭和31年 9月 : 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7ヶ村を合併
- ・昭和36年 3月 : 川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月 : 上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月 : 鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月 : 上郷町を編入合併
- ・平成17年10月 : 上村及び南信濃村を編入合併

3 市議会議員選挙執行状況

昭和32年4月28日	合併による設置選挙
昭和35年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和36年4月23日	任期满了一般選挙
昭和39年5月15日	龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙
昭和39年8月28日	伊賀良地区補欠選挙
昭和39年10月25日	飯田地区補欠選挙
昭和40年4月25日	任期满了一般選挙
昭和43年10月20日	補欠選挙
昭和44年4月20日	任期满了一般選挙
昭和47年10月22日	補欠選挙
昭和48年4月22日	任期满了一般選挙
昭和51年10月17日	補欠選挙
昭和52年4月17日	任期满了一般選挙
昭和55年10月19日	補欠選挙
昭和56年4月19日	任期满了一般選挙
昭和60年4月21日	任期满了一般選挙
昭和63年10月16日	補欠選挙
平成元年4月23日	任期满了一般選挙
平成4年10月18日	補欠選挙
平成5年4月25日	任期满了一般選挙
平成5年8月1日	上郷町合併による増員選挙
平成8年10月20日	補欠選挙
平成9年4月20日	任期满了一般選挙
平成12年10月15日	補欠選挙
平成13年4月22日	任期满了一般選挙
平成16年10月24日	補欠選挙
平成17年4月24日	任期满了一般選挙
平成17年10月30日	補欠選挙
平成21年4月19日	任期满了一般選挙

4 歴代市議会議員

(1) 歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	代田源六郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
		昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
		昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
2代	辻 虎松	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
3代	近松 宗一	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
4代	伊原 悦雄	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
		昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
5代	林 昌平	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
		昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
		昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
6代	松嶋 健次	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
7代	平澤 與一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
8代	塩澤 昭	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
9代	竹村 仁實	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
10代	實原 裕	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
11代	今村 八束	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
		平成7. 5. 12	平成9. 4. 27
12代	小林 利一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
		平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
13代	西尾 喜好	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
14代	岩崎 和男	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
15代	熊谷 富夫	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
16代	上澤 義一	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
17代	中島武津雄	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
18代	上澤 義一	平成23. 5. 13	

(2) 歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	伊藤 清	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	片山 均	昭和32. 5. 10	昭和36. 4. 27
		昭和36. 5. 15	昭和39. 8. 1
3代	熊谷 一郎	昭和39. 9. 15	昭和40. 4. 27
		昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
4代	小林 新吾	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
5代	市村 保人	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
6代	今村 輝男	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
		昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
7代	新井 安男	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
8代	林 昌平	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
9代	松江 良夫	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
10代	片桐 勲	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
11代	松江 良夫	昭和56. 5. 7	昭和58. 4. 22
12代	平澤 與一	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
		昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
13代	細田 直彦	昭和62. 5. 12	昭和63. 11. 10
14代	関島 一郎	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
15代	竹村 仁實	平成元. 5. 10	平成3. 1. 31
16代	松江 良夫	平成3. 1. 31	平成3. 5. 9
17代	内山 照美	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
18代	澤柳辨治郎	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
19代	松島 年一	平成7. 5. 12	平成8. 10. 31
20代	片桐 司郎	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
		平成9. 5. 13	平成11. 5. 13
21代	中田 佳甫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
22代	牧内 信臣	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
23代	渡 淳	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27
24代	林 幸次	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
25代	矢澤 芳文	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27
26代	清水 可晴	平成21. 5. 12	平成23. 5. 13
27代	村松 まり子	平成23. 5. 13	

(3) 歴代総務文教常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	総務部委員会	木下 章雄	近松 宗一 前島 秀夫	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	大平 節蔵	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	関島彦四郎	北原 正司	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	近松 宗一	前島 秀夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	辻 虎松	松島 健次	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	鳴海 衛	宮嶋 繁	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	総務文教委員会	市村 保人	橋部 肇	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	茂木立好則	前島 成光	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	斉藤 為良	細田 直彦	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	内田 篤	川手 守	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	〃	原 廣男	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐七右衛門	前島 成光	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	細田 直彦	塩澤 文朗	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	竹村 仁實	熊谷 康登	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	今村 八束	今村 淳	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	久保田 元	吉川 昌子	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	松島 年一	今村 淳	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	小林 利一	牧内 信臣	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	吉村徳一郎	渡 淳	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	岩崎 和男	渡 淳	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	熊谷 富夫	小池 清	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	下平 政幸	中島武津雄	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	上澤 義一	村松まり子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	原 勉	森本美保子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	林 幸次	原 和世	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 容子	森本美保子	平成23. 5. 13	

(4) 歴代社会常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	社会部委員会	児島 栄次	久保田安美 宮内 昇	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	実原 徳重	知久陽之祐	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	田口 秀男	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	辻 虎松	漆原 恒実	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	〃	〃	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	〃	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	漆原 恒実	榊田 太一	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	佐々木清信	松江 良夫	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	斉藤 宗義	熊谷政一郎	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	林 昌平	伊東 秀彦	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	社会民生委員会	西尾 仁一	松下 茂	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松江 良夫	片桐七右衛門	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	社会委員会	片桐 勲	佐々木文雄	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	松江 良夫	中島 勝美	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	尾沢 貞夫	片桐 芳朗	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	松下 茂	平田 友畝	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	森本 藤登	今村 八束	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	西尾 保雄	吉川 義治	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
19代	〃	〃	小林 利一	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
20代	〃	片桐 司郎	関島 秀夫	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
21代	〃	櫻井 俊夫	西尾 喜好	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
22代	〃	下平 一郎	中田 佳甫	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
23代	〃	中田 佳甫	熊谷 富夫	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
24代	〃	牛山 重一	井坪 隆	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
25代	〃	菅沼 立男	中島武津雄	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
26代	〃	柄澤 紀春	荒木 興利	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
27代	〃	原 勉	森本美保子	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
28代	〃	中島武津雄	木下 容子	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
29代	〃	森本美保子	村松まり子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
30代	〃	木下 克志	後藤 荘一	平成23. 5. 13	

(5) 歴代産業経済常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	産業部委員会	田中 伝	宮下 綱六 宮川藤次郎	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	小林 新吾	堀 保麿	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	〃	丸山 治郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	葛岡 利治	〃	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	丸山 治郎	松重 新一	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	〃	宮脇 省	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	産業経済部委員会	新井 安男	原 茂	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	今村 輝男	新井 安男	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	林 昌平	原田 正志	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	北原 正司	小松 芳男	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	産業経済委員会	原 茂	佐々木 勝	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	北原 正司	橋部 肇	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	平沢 與一	原 廣男	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	原 康次	林 利実	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	平澤 與一	竹村 仁實	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	片桐 勲	〃	昭和58. 5. 8	昭和59. 10. 14
17代	〃	竹村 仁實	中田 修	昭和59. 10. 26	昭和60. 4. 27
18代	〃	〃	塩澤 昭	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
19代	〃	酒井 米	小林 三郎	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	内山 照美	下平 一郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	下平 一郎	小林 利一	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	〃	伊原 与一	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	佐藤 好英	吉川 義治	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	西尾 喜好	岩崎 和男	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	下平 政幸	熊谷 富夫	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27
26代	〃	渡 淳	上澤 義一	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
27代	〃	矢澤 芳文	佐々木重光	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
28代	〃	清水 可晴	原 和世	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
29代	〃	原 和世	山崎 紀男	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
30代	〃	木下 克志	木下 容子	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成23. 5. 13	

(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	建設部委員会	辻 虎松	竹内 兵治 伊原 悦雄	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	近松 宗一	林 省三	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17
3代	〃	山田 亮一	伊原 悦雄	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	佐々木清信	木下 章雄	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 22
5代	〃	木下 章雄	新井 安男	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	佐々木清信	林 昌平	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	今牧 照男	〃	昭和41. 5. 14	昭和42. 5. 11
8代	〃	伊原 悦雄	代田 保雄	昭和42. 5. 12	昭和44. 4. 27
9代	〃	今牧 照男	茂木立好則	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 6
10代	〃	新井 安男	大蔵 浜雄	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	建設委員会	茂木立好則	〃	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	斉藤 宗義	今牧 泰三	昭和50. 5. 8	昭和52. 4. 27
13代	〃	橋部 肇	今村 馨	昭和52. 5. 6	昭和54. 5. 5
14代	〃	森本 藤登	木下 登	昭和54. 5. 6	昭和56. 4. 27
15代	〃	今村 馨	熊谷 康登	昭和56. 5. 8	昭和58. 5. 7
16代	〃	細田 直彦	木下 登	昭和58. 5. 8	昭和60. 4. 27
17代	〃	関島 一郎	酒井 米	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 11
18代	〃	〃	實原 裕	昭和62. 5. 12	昭和63. 12. 1
19代	〃	實原 裕	塩澤 昭	昭和63. 12. 2	平成元. 4. 27
20代	〃	平田 友畝	澤柳辨治郎	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	松島 年一	〃	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27
22代	〃	吉川 義治	佐藤 好英	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	塩澤 俊彦	伊藤 芳之	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27
24代	〃	牧内 信臣	木下 昭一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
25代	〃	實原 公男	久保田平八郎	平成11. 5. 13	平成12. 10. 21
26代	〃	菅沼 立男	〃	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
27代	建設環境委員会	井坪 隆	原 勉	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
28代	〃	木下 昭一	原 和世	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
29代	〃	佐々木重光	湯澤 宗保	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
30代	〃	柄澤 紀春	後藤 修三	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
31代	〃	伊壺 敏子	吉川 秋利	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
32代	〃	原 和世	永井 一英	平成23. 5. 13	

(7) 歴代議会運営委員会正副委員長

代	委員会名	委員長名	副委員長名	就任年月日	退任年月日
1代	議会運営委員会	木下 章雄	近松 宗一	昭和31. 10. 8	昭和32. 4. 27
2代	〃	島岡 利雄	伊藤 誠一	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 18
3代	〃	佐々木利夫	佐々木清信	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27
4代	〃	熊谷 一郎	伊藤 誠一	昭和36. 5. 15	昭和38. 5. 23
5代	〃	佐々木清信	熊谷 一郎	昭和38. 5. 23	昭和40. 4. 27
6代	〃	近松 宗一	鳴海 衛	昭和40. 5. 6	昭和41. 5. 13
7代	〃	斉藤 宗義	代田 保雄	昭和41. 5. 13	昭和42. 5. 11
8代	〃	丸山 治郎	原田 正志	昭和42. 5. 11	昭和44. 4. 27
9代	〃	新井 安男	原 茂	昭和44. 5. 7	昭和46. 5. 7
10代	〃	松江 良夫	西尾 仁一	昭和46. 5. 7	昭和48. 4. 27
11代	〃	伊東 秀彦	太田 猶市	昭和48. 5. 8	昭和50. 5. 7
12代	〃	松嶋 健次	尾沢 貞夫	昭和50. 5. 7	昭和52. 4. 27
13代	〃	尾沢 貞夫	竹村 仁實	昭和52. 5. 6	昭和54. 4. 13
14代	〃	片桐七右衛門	塩沢 文朗	昭和54. 4. 13	昭和56. 4. 27
15代	〃	木下 登	内山 照美	昭和56. 5. 8	昭和57. 3. 1
16代	〃	片桐七右衛門	〃	昭和57. 3. 1	昭和58. 4. 22
17代	〃	中島 勝美	酒井 米	昭和58. 4. 22	昭和60. 4. 27
18代	〃	内山 照美	平田 友畝	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12
19代	〃	平田 友畝	松島 年一	昭和62. 5. 12	平成元. 4. 27
20代	〃	松島 年一	久保田 元	平成元. 5. 10	平成3. 5. 9
21代	〃	吉川 義治	今村 淳	平成3. 5. 9	平成5. 4. 27
22代	〃	中田 佳甫	牧内 信臣	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12
23代	〃	伊原 与一	片桐 司郎	平成7. 5. 13	平成8. 4. 22
24代	〃	澤柳辨治郎	〃	平成8. 6. 4	平成8. 10. 31
25代	〃	〃	桜井 俊夫	平成8. 10. 31	平成9. 4. 27
26代	〃	久保田平八郎	牛山 重一	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12
27代	〃	木下 昭一	菅沼 立男	平成11. 5. 13	平成12. 10. 30
28代	〃	〃	柄澤 紀春	平成12. 10. 31	平成13. 4. 27
29代	〃	矢澤 芳文	清水 可晴	平成13. 5. 15	平成15. 5. 14
30代	〃	上澤 義一	林 幸次	平成15. 5. 15	平成17. 4. 27
31代	〃	原 和世	下平 勝熙	平成17. 5. 13	平成19. 5. 11
32代	〃	下平 勝熙	木下 克志	平成19. 5. 12	平成21. 4. 27
33代	〃	井坪 隆	清水 勇	平成21. 5. 13	平成23. 5. 13
33代	〃	林 幸次	新井信一郎	平成23. 5. 13	

(8) 歴代監査委員（議会選出）

代	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	田中 悟	昭和31. 10. 1	昭和32. 4. 27	
2代	佐々木清信	昭和32. 5. 10	昭和34. 5. 17	
3代	熊谷 一郎	昭和34. 5. 18	昭和36. 4. 27	
4代	関島彦四郎	昭和36. 5. 15	昭和41. 6. 15	
5代	市村 保人	昭和41. 6. 17	昭和42. 6. 5	
6代	宮内 昇	昭和42. 6. 6	昭和44. 4. 27	
7代	市村 保人	昭和44. 5. 7	昭和46. 6. 3	
8代	宮内 昇	昭和46. 6. 4	昭和50. 6. 6	
9代	近松 宗一	昭和50. 6. 10	昭和52. 4. 27	
10代	伊原 悦雄	昭和52. 6. 6	昭和54. 4. 13	
11代	松下 茂	昭和54. 4. 16	昭和56. 5. 7	
12代	西尾 保雄	昭和56. 5. 8	昭和60. 4. 27	
13代	實原 裕	昭和60. 5. 10	昭和62. 5. 12	
14代	松嶋 健次	昭和62. 5. 13	平成元. 4. 27	
15代	小林 三郎	平成元. 5. 10	平成2. 6. 30	
16代	實原 裕	平成2. 7. 16	平成3. 5. 9	
17代	竹村 仁實	平成3. 5. 10	平成5. 4. 27	
18代	”	平成5. 5. 13	平成7. 5. 12	
19代	實原 裕	平成7. 5. 13	平成9. 4. 27	
20代	竹村 仁實	平成9. 5. 13	平成11. 5. 12	
21代	片桐 司郎	平成11. 5. 13	平成13. 4. 27	
22代	小林 利一	平成13. 5. 15	平成15. 3. 3	
23代	西尾 喜好	平成15. 5. 14	平成17. 4. 27	
24代	岩崎 和男	平成17. 5. 13	平成19. 5. 10	
25代	熊谷 富夫	平成19. 5. 11	平成21. 4. 27	
26代	上澤 義一	平成21. 5. 13	平成23. 5. 12	
27代	中島武津雄	平成23. 5. 13		

(9) 歴代事務局長

代	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	林 政人	昭和31. 9. 30	昭和39. 3. 31	
2代	久保 武敏	昭和39. 4. 1	昭和44. 3. 31	
3代	福井 実	昭和44. 4. 1	昭和44. 10. 19	
4代	村沢 光男	昭和44. 10. 20	昭和48. 6. 30	
5代	酒井 篤	昭和48. 7. 1	昭和50. 3. 31	
6代	宮沢 邦男	昭和50. 4. 1	昭和54. 3. 31	
7代	木下 良美	昭和54. 4. 1	昭和56. 3. 31	
8代	松澤 平吉	昭和56. 4. 1	昭和59. 3. 31	
9代	坂下 幸彦	昭和59. 4. 1	平成元. 3. 31	
10代	小木曾義信	平成元. 4. 1	平成3. 3. 31	
11代	浦野 勉	平成3. 4. 1	平成6. 3. 31	
12代	横田 常	平成6. 4. 1	平成9. 3. 31	
13代	山岸一二三	平成9. 4. 1	平成11. 3. 31	
14代	吉川 元勝	平成11. 4. 1	平成13. 3. 31	
15代	中本 卓良	平成13. 4. 1	平成15. 3. 31	
16代	福田 富廣	平成15. 4. 1	平成16. 3. 31	
17代	大沢 英二	平成16. 4. 1	平成17. 3. 31	
18代	尾澤 敏秀	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	
19代	中井 洋一	平成19. 4. 1	平成20. 3. 31	
20代	平澤 和人	平成20. 4. 1	平成20. 12. 31	
21代	篠田 雅弘	平成21. 1. 1		

(10) 歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7ヶ村合併）

(7) 三穂地区 12人

林 武男	林 武司	坂巻 政美	林 保	古川 舎人	佐藤 芳房
宮沢 敬信	前沢 蔵六	川井 邦	西村 文雄	川上 竹市	久保田安美

(イ) 飯田地区 29人

代田源六郎	斉藤 隆久	今村 正美	田口 秀夫	牧島 保一	大竹 四郎
井村豊太郎	井原 淳治	辻 虎松	山田 亮一	深津 一郎	酒井 府
古瀬 仁	菊池 恭平	児島 栄次	宮下 綱六	吉川 一	中田 栄
木下 一人	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	木下 勝義	加藤 英男
田中 悟	早川 清雄	荒井重右衛門	長坂 晃	漆原 恒実	

(ウ) 座光地地区 16人

知久陽之祐	北原 弘	片桐 卓治	上沼 善夫	黒川 利一	今村 良美
湯沢 博司	篠田力三郎	棚田 正雄	佐々木貞雄	竹内 武男	原田 栄治
佐々木信雄	原田 幸雄	三村 利	竹内 兵治		

(エ) 竜丘地区 16人

伊原 悦雄	下平 広志	原 登	吉川 正己	中平恒三郎	今村 恵
長沼 保治	林 正司	松村 新八	前島 秀夫	北沢小太郎	沖田 武一
下田 巖	原 光人	下平 勲資	塚平 睦雄		

(オ) 松尾地区 22人

林 宗三郎	江塚 角三	斉藤 忠治	木下 徳雄	塩沢 秋生	平栗 英祐
山中 竜策	今村 輝男	小木曾嘉一	青山 孝一	常盤 喜八	福島 淡
牛草 利春	藤田 勇夫	塩沢伝之助	中山 政雄	奥田 利吉	松村 信一
熊谷 好次	金井 啓	伊与部金一	木下 章雄		

(カ) 下久堅地区 16人

平沢 清人	池田 嘉篤	吉沢 昇	羽生 一善	宮川藤次郎	森岡 清志
宮内 昇	三石 義臣	宮脇 利雄	桐生 忠治	橋爪徳次郎	三石誠一郎
羽場 義雄	木下 平治	坂井 伸一	平沢 亮治		

(キ) 伊賀良地区 22人

坂下 美富	矢沢 秀一	相原 貢	橋部 文男	今牧 泰三	伊藤 仁
佐々木省吾	元島 均治	今牧 照男	平田 武司	水野 恒夫	神部 稲男
矢沢 清志	松沢 武雄	伊藤 清	肥後 明一	平田 薫	田部 勇
鈴木 太郎	新井 一正	宮下 喜一	原 稲太郎		

(ク) 山本地区 16人

尾沢 元一	熊谷 英雄	竹村 汎愛	平岩四郎吉	竹村 央	遠山 皓
熊谷 広男	山内 精一	田中 伝	金田 伝	唐沢 茂一	玉置 敏夫
久保田久吉	金沢 重雄	熊崎 六蔵	小池 政之		

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日
日まで 8選挙区 定数36)

片山 均	伊藤 誠一	久保田一男	松沢 広	田中 伝	島岡 利雄
林 保	林 省三	北沢小太郎	伊原 悦雄	木下 章雄	伊与部金一
葛岡 利治	丸山 治郎	小林 新吾	宮脇 省	佐々木利夫	知久陽之祐
代田源六郎	実原 徳重	佐々木清信	近松 宗一	今村 正美	児島 栄次
井原 淳治	堀 保麿	福島 勝男	古瀬 仁	漆原 恒美	串原 義直
山田 亮一	深津 一郎	辻 虎松	熊谷 一郎	田口 秀男	岡島 新治

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日
まで 定数3)

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日
まで9選挙区 定数28)

片山 均	浜島 惣一	伊原 春男	鳴海 衛	宮内 昇	葛岡 利治
岡村 賢作	知久陽之祐	丸山 治郎	関島彦四郎	佐々木清信	代田源六郎
代田 哲	今牧 照男	新井 安男	近松 宗一	木下 章雄	串原 義直
福島 勝男	前島 成光	小林 新吾	沢柳 敏夫	漆原 恒美	辻 虎松
竹村 央	伊藤 誠一	松重 新一	熊谷 一郎		

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3ヶ村合併による増員選挙 任期は
昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5)

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日
日まで 定数1)

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日
まで 定数1)

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日
日まで 全市1選挙区 定数36)

林 昌平	前島 秀夫	北原 正司	鳴海 衛	辻 虎松	市村 保人
小林 新吾	代田 保雄	近松 宗一	代田源六郎	矢崎 三郎	沢柳 俊夫
榊田 太一	今村 治郎	丸山 治郎	松江 良夫	伊原 悦雄	原 茂
大蔵 浜雄	宮嶋 茂	漆原 恒美	富田 政雄	葛岡 利治	大平 節蔵
今村 輝男	新井 安男	佐々木清信	宮内 昇	熊谷 一郎	宮脇 省

前島 成光 熊谷 武志 斉藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

池上 一雄	茂木立好則	位高 勉	永山 忠男	前島 成光	佐藤力三郎
今牧 照男	斉藤 宗義	小松 芳男	江塚 善二	宮内 昇	大蔵 浜雄
松下 茂	原 茂	原 康次	原田 正志	熊谷政一郎	西尾 仁一
中山 栄次	辻 虎松	榊田 太一	内田 篤	伊東 秀彦	北原 正司
松嶋 健次	今村 輝男	林 昌平	新井 安男	片桐 勲	近松 宗一
宮嶋 繁	熊谷 武志	市村 保人	鳴海 衛	伊原 悦雄	松江 良夫

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

大蔵 浜雄	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	前島 成光	佐藤力三郎
片桐七右衛門	伊藤 祐春	太田 猶市	佐々木 勝	平澤 與一	尾沢 貞夫
松下 茂	森本 藤登	佐々木清信	鳴海 衛	原 茂	松江 良夫
伊東 秀彦	松嶋 健次	今牧 泰三	内田 篤	西尾 仁一	橋部 肇
斉藤 為良	新井 安男	市村 保人	斉藤 宗義	今村 輝男	北原 正司
伊原 悦雄	近松 宗一	江塚 善二	宮内 昇	茂木立好則	林 昌平

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

片桐七右衛門	塩沢 文朗	片桐 芳朗	川手 守	熊谷 康登	斉藤 宗義
竹村 仁實	木下 登	原 広男	原 康次	松下 茂	西尾 保雄
内田 篤	森本 藤登	今村 馨	平澤 與一	片桐 勲	中島 勝美
林 利実	尾沢 貞夫	橋部 肇	細田 直彦	佐々木文雄	佐々木 勝
斉藤 為良	西尾 仁一	茂木立好則	松江 良夫	林 昌平	伊原 悦雄

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

塩沢 昭	實原 裕	平田 友敏	酒井 米	前島 成光	熊谷 康登
片桐 芳朗	塩沢 文朗	中田 修	竹村 仁實	今村 馨	内山 照美
木下 登	西尾 保雄	原 康次	森本 藤登	中島 勝美	片桐七右衛門
松島 健次	原 広男	細田 直彦	平澤 與一	松下 茂	内田 篤
松江 良夫	林 昌平	片桐 勲	尾沢 貞夫	茂木立好則	伊原 悦雄

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

田原 慶一	武田 良人	中村 岸美	中島文三郎	木下 為輔	関島 一郎
五十君酒造大	高木 敏美	松沢アサエ	河村 弘久	水野佐知穂	村沢 延
吉川 義治	今村 淳	村沢 博	鷺見 知一	北沢 芳男	新井紀一郎
片桐 司郎	下田 武志	小林 雅夫	関島 秀夫		

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

田中 秀典	下平 一郎	小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 昌子
熊谷 康登	牧内 信臣	櫻井 俊夫	久保田 元	吉川 義治	武田 良人
今村 八束	原 広男	今村 淳	塩沢 文朗	片桐 司郎	西尾 保雄
塩沢 昭	實原 裕	平田 友敏	酒井 米	関島 一郎	内山 照美
森本 藤登	松下 茂	竹村 仁實	細田 直彦	尾沢 貞夫	平澤 與一
松嶋 健次					

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫	吉川 昌子
牛山 重一	牧内 信臣	塩澤 俊彦	長谷部徳治	伊藤 芳之	小林 利一

関島 秀夫	下平 一郎	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎
小林 三郎	松島 年一	澤柳辨治郎	久保田 元	吉川 義治	今村 八束
西尾 保雄	塩澤 昭	實原 裕	平田 友敏	内山 照美	竹村 仁實
松江 良夫					

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

又 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

柄澤 紀春	菅沼 立男	吉川 四郎	實原 公男	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	牛山 重一	牧内 信臣	吉川 昌子	塩澤 俊彦
長谷部徳治	西尾 喜好	吉村徳一郎	伊原 与一	佐藤 好英	中田 佳甫
伊藤 芳之	渡 淳	今村 淳	櫻井 俊夫	片桐 司郎	小林 利一
下平 一郎	松島 年一	澤柳辨治郎	吉川 義治	今村 八束	實原 裕
竹村 仁實					

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

佐藤久美子	小池 清	清水 可晴	佐々木重光	原 勉	中島武津雄
上澤 義一	荒木 興利	大坪 勇	牛山 重一	牧内 信臣	矢澤 芳文
井坪 隆	岩崎 和男	林 幸次	渡 淳	熊谷 富夫	久保田平八郎
下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好	柄澤 紀春	菅沼 立男	實原 公男
吉村徳一郎	佐藤 好英	中田 佳甫	小林 利一	今村 八束	片桐 司郎
竹村 仁實					

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日

まで 定数31)

木下 容子	下平 勝熙	伊壺 敏子	大谷 恵子	湯澤 宗保	森本美保子
村松まり子	牛山満智子	清水 可晴	小池 清	牛山 重一	牧内 信臣
原 和世	原 勉	林 幸次	渡 淳	久保田平八郎	柄澤 紀春
菅沼 立男	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	荒木 興利	井坪 隆
岩崎 和男	矢澤 芳文	熊谷 富夫	下平 政幸	木下 昭一	西尾 喜好
小林 利一					

へ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 荘一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期満了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

清水 勇	代田 剛嗣	新井信一郎	内山 要子	吉川 秋利	伊藤 清春
永井 一英	木下 容子	下平 勝熙	後藤 荘一	木下 克志	湯澤 宗保
森本美保子	柄澤 紀春	村松まり子	林 幸次	清水 可晴	伊壺 敏子
原 和世	原 勉	中島武津雄	上澤 義一	佐々木重光	矢澤 芳文
岩崎 和男	熊谷 富夫	牧内 信臣			

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

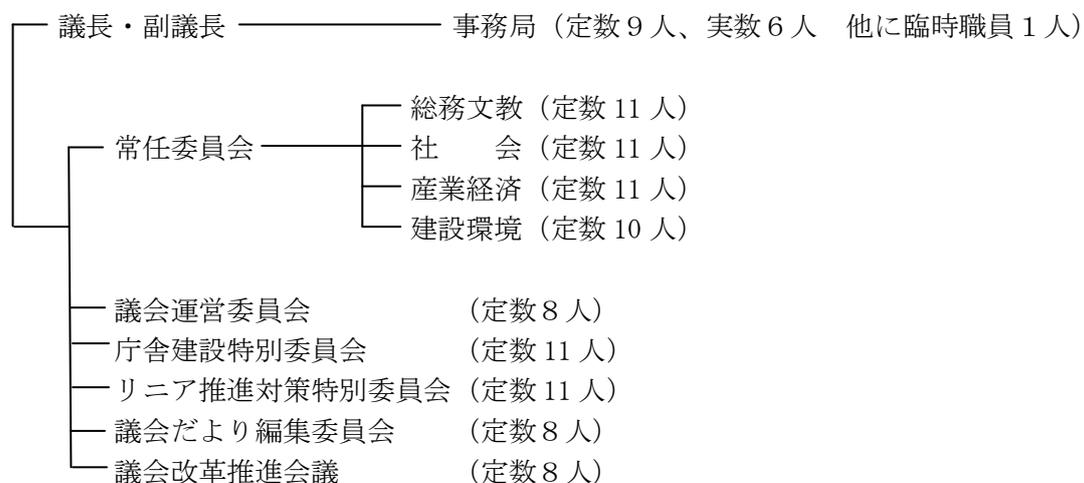
山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

湯澤 啓次	湊 猛	清水 勇	吉川 秋利	永井 一英	福沢 清
内田 雄一	牛山満智子	新井信一郎	木下 克志	木下 容子	下平 勝熙
村松まり子	森本美保子	後藤 荘一	伊壺 敏子	中島武津雄	上澤 義一
清水 可晴	林 幸次	井坪 隆	原 和世	原 勉	

II 市議会の構成（平成 24. 5. 31 現在）

1 構成



(1) 常任委員会

ア 所管事項

- (ア) 総務文教委員会 総務部、企画部、危機管理・交通安全対策室、暴力追放対策室、会計管理者、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会委員会 保健福祉部の所管に属する事業及び病院事業に関する事項
- (ウ) 産業経済委員会 産業経済部及び農業委員会の所管に属する事項
- (エ) 建設環境委員会 水道環境部、建設部及び水道局の所管に関する事項

イ 任期 2年

(2) 議会運営委員会

ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

イ 任期 2年

(3) 庁舎建設特別委員会

ア 所管事項

庁舎建設に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2年

(4) リニア推進対策特別委員会

ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進対策に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2年

(5) 議員

ア 任期 平成 21 年 4 月 28 日から平成 25 年 4 月 27 日まで

イ 法定上限数 34 人 (平成 23 年法改正により、法定上限数は撤廃された)

ウ 条例定数 23 人

エ 現員数 23 人

(ア) 党派別

日本共産党	3 人	公明党	3 人	無所属	17 人
-------	-----	-----	-----	-----	------

(イ) 会派別

会派のぞみ	8 人	会派みらい	5 人	日本共産党	3 人
-------	-----	-------	-----	-------	-----

公明党	3 人	市民パワー	3 人	無会派	1 人
-----	-----	-------	-----	-----	-----

2 議員名簿

番号	氏名	会派	期数	郵便番号	住所	自宅電話
1	湯澤 啓次	会派のぞみ	1	〒395-0001	座光寺2570番地1	24-6698
2	湊 猛	会派のぞみ	1	〒399-1311	南信濃和田1343番地1	0260 34-2248
3	清水 勇	会派のぞみ	2	〒399-2221	龍江2453番地1	27-2569
4	吉川 秋利	会派のぞみ	2	〒395-0807	鼎切石4375番地	24-8268
5	永井 一英	公明党	2	〒395-0077	丸山町2丁目6725番地14	23-4021
6	福沢 清	会派みらい	1	〒395-0029	二本松333番地1	22-5620
7	内田 雄一	日本共産党	1	〒399-2563	時又1051番地1	22-3552
8	牛山 満智子	無会派	2	〒395-0051	大瀬木1972番地10	25-7572
9	新井 信一郎	会派のぞみ	2	〒395-0151	北方3330番地1	25-0250
10	木下 克志	会派のぞみ	3	〒395-0803	鼎下山665番地	24-5645
11	木下 容子	市民パワー	3	〒395-0063	羽場町1丁目5番地7	22-5973
12	下平 勝熙	市民パワー	3	〒399-2565	桐林3459番地4	26-9926
13	村松 まり子	公明党	3	〒395-0814	八幡町489番地2	24-6884
14	森本 美保子	会派みらい	3	〒395-0811	松尾上溝6231番地2	23-2547
15	後藤 荘一	日本共産党	3	〒395-0156	中村1221番地	25-7857
16	伊壺 敏子	日本共産党	3	〒395-0004	上郷黒田996番地	24-4944
17	中島 武津雄	会派のぞみ	4	〒399-2565	桐林1347番地2	26-8080
18	上澤 義一	会派のぞみ	4	〒395-0051	大瀬木3066番地2	25-6696
19	清水 可晴	市民パワー	4	〒395-0158	高羽町3丁目4番地8	23-8200
20	林 幸次	公明党	4	〒399-2602	下久堅下虎岩3031番地10	29-8953
21	井坪 隆	会派みらい	4	〒395-0004	上郷黒田1826番地	23-6421
22	原 和世	会派みらい	4	〒395-0244	山本4703番地1	25-1216
23	原 勉	会派みらい	4	〒395-0044	本町1丁目15番地901号	22-0193

年齢別議員数

(平成24年5月31日現在)

年齢	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
人員	1		1	6	14	1	23

当選回数別議員数

(平成24年5月31日現在)

当選回数	1回	2回	3回	4回	計
人員	4	5	7	7	23

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(平成23年5月13日改選)

議 長	上澤 義一	副 議 長	村松まり子
-----	-------	-------	-------

(2) 委員会

(平成23年5月13日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

委 員 会 名	委 員			
総務文教委員会 (11名)	◎木下 容子 内田 雄一 林 幸次	○森本美保子 新井信一郎 井坪 隆	湯澤 啓次 伊壺 敏子 原 勉	吉川 秋利 清水 可晴
社 会 委 員 会 (11名)	◎木下 克志 永井 一英 森本美保子	○後藤 莊一 福沢 清 清水 可晴	湯澤 啓次 牛山満智子 原 和世	湊 猛 木下 容子
産 業 経 済 委 員 会 (10名)	◎伊壺 敏子 新井信一郎 井坪 隆	○吉川 秋利 下平 勝熙 原 勉	清水 勇 村松まり子	牛山満智子 中島武津雄
建 設 環 境 委 員 会 (10名)	◎原 和世 福沢 清 後藤 莊一	○永井 一英 内田 雄一 林 幸次	湊 猛 木下 克志	清水 勇 下平 勝熙
議 会 運 営 委 員 会 (8名)	◎林 幸次 下平 勝熙	○新井信一郎 伊壺 敏子	福沢 清 中島武津雄	木下 克志 原 勉
庁舎建設特別委員会 (11名)	◎原 勉 福沢 清 伊壺 敏子	○下平 勝熙 木下 克志 林 幸次	湊 猛 木下 容子 原 和世	吉川 秋利 後藤 莊一
リニア推進対策 特別委員会 (11名)	◎清水 勇 内田 雄一 伊壺 敏子	○井坪 隆 木下 克志 清水 可晴	湯澤 啓次 木下 容子 原 和世	永井 一英 森本美保子
議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	◎上澤 義一 永井 一英	○村松まり子 内田 雄一	湯澤 啓次 下平 勝熙	吉川 秋利 井坪 隆
議会改革推進会議 (8名)	◎清水 可晴 永井 一英	○福沢 清 後藤 莊一	湯澤 啓次 中島武津雄	吉川 秋利 井坪 隆

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(平成23年5月13日選任)

推 薦 基 準	任 期	氏 名
議員から1名を推薦 市長が議会の同意を得る	4 年 (2年で改選)	中島武津雄

(2) 南信州広域連合議会議員

(平成23年5月13日選任)

推薦基準	任期	氏名
議員から12名 正・副議長(2) 4 常任委員長(4) 会派案分(6)	4 年 (2年で改選)	上澤 義一 村松まり子 新井信一郎 木下 克志 木下 容子 下平 勝熙 後藤 莊一 伊壺 敏子 中島武津雄 林 幸次 井坪 隆 原 和世

5 議会選出の各種委員等

(1) 附属機関等の委員名簿

(平成23年5月13日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
青少年問題協議会 (2名)	総文委員2	2 年	木下 容子 森本美保子
民生委員推薦会 (2名)	社会正副委員長	3 年	木下 克志 後藤 莊一
都市計画審議会 (5名)	総文1・社会1 産経1・建環2	2 年	木下 容子 木下 克志 伊壺 敏子 原 和世 永井 一英
国民保護協議会 (4名)	4 常任委員長	2 年	木下 容子 木下 克志 伊壺 敏子 原 和世

(2) その他の団体の役員

(平成23年5月13日選任)

名称	推薦基準	任期	氏名
リニア中央新幹線 建設促進飯伊地区期成 同盟会 (7名)	正副議長 4 常任委員長 監査委員 リニア特別委員 長	在職期間	【副会長】上澤 義一 【理事】村松まり子 木下 容子 木下 克志 伊壺 敏子 原 和世 清水 勇 【監事】中島武津雄
三遠南信道路建設促進 南信地域期成同盟会 (3名)	正副議長 監査委員	2 年	【副会長】上澤 義一 【理事】村松まり子 【監事】中島武津雄
三遠南信自動車道建設促進 飯田市九地区期成同盟会	地区出身議員 下久堅・上久堅・ 千代・龍江・川路 ・三穂・山本・上 村・南信濃	1 年	【顧問】林 幸次 清水 勇 原 和世 湊 猛
国道256号改良促進 期成同盟会 (3名)	正副議長 建環委員長	2 年	【理事】上澤 義一 村松まり子 原 和世
主要地方道飯田富山佐久 間線改良促進期成同盟会	正副議長 建環正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍 江	2 年	【監事】上澤 義一 【理事】村松まり子 原 和世 永井 一英 林 幸次 清水 勇

主要地方道飯島飯田線 改良促進期成同盟会	正副議長 建環正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷 橋北・橋南・羽場 丸山・東野・鼎・ 伊賀良	2年	【理事】上澤 義一 村松まり子 原 和世 永井 一英 湯澤 啓次 井坪 隆 伊壺 敏子 福沢 清 原 勉 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 木下 克志 吉川 秋利 新井信一郎 牛山満智子 後藤 荘一
主要地方道飯田南木曾線 改良促進期成同盟会	正副議長 建環正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場 丸山・東野	2年	【理事】上澤 義一 原 和世 永井 一英 福沢 清 原 勉 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 【監事】村松まり子
広域幹線林道千遠線 開設期成同盟会（2名）	議長 産経委員長	2年	【委員】上澤 義一 伊壺 敏子
国道152号改良促進 期成同盟会（2名）	議長 建環委員長	2年	【理事】上澤 義一 原 和世
国道418号整備促進 期成同盟会（3名）	正副議長 建環正副委員長	2年	【理事】上澤 義一 村松まり子 原 和世 永井 一英
都市計画道路羽場大瀬木線 改良促進連絡協議会	正副議長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場 丸山・鼎・伊賀良	1年	【相談役】上澤 義一 村松まり子 福沢 清 原 勉 木下 容子 永井 一英 吉川 秋利 木下 克志 新井信一郎 牛山満智子 後藤 荘一
伊那テクノバレー地域 センター（1名）	議長	在職期間	【地域評議員】上澤 義一
松尾浄化管理センター連絡 協議会	正副議長 建環委員長 地区出身議員	在任期間	【委員】上澤 義一 村松まり子 原 和世 森本美保子

(3) 議員による任意の団体

森林・林業・林産業 活性化促進議員連盟 (林業活性化推進 飯田市議員連盟)	各会派1	2年	【会長】清水 可晴 【副会長】湊 猛 【幹事】後藤 荘一 永井 一英 福沢 清 【委員】全市議会議員
三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会	賛同議員	在職期間	【会長】上澤 義一 【委員】全市議会議員

6 各会派及び各派の代表者氏名

会派名	代表者名	議員数	会派名	代表者名	議員数
会派のぞみ	中島武津雄	8	会派みらい	原 勉	5
日本共産党	伊壺 敏子	3	公明党	林 幸次	3
市民パワー	下平 勝熙	3	無会派		1

Ⅲ 1年間の活動

1 市議会の活動状況

(1) 市議会招集回数10か年比較表

年次		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
招集回数	定例会	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	臨時会	0	1	1	2	0	1	0	2	0	2
会期日数		96	86	86	88	81	89	89	112	102	105
本会議日数		19	21	20	22	20	21	20	22	17	18
議案件数		172	155	134	324	170	177	171	197	199	287

(2) 議会開会状況（平成23年1月から23年12月まで）

	会 議	会 期	会期日数	本会議日数
1	第1回臨時会	2月10日～2月10日	1	1
2	第1回定例会	3月1日～3月24日	24	4
3	第2回臨時会	5月13日～5月13日	1	1
4	第2回定例会	5月31日～6月24日	25	4
5	第3回定例会	8月31日～9月30日	31	4
6	第4回定例会	11月30日～12月22日	23	4
計			105	18

(3) 議会審議状況（平成23年1月から23年12月まで）

会別		第1回臨時会	第1回定例会	第2回臨時会	第2回定例会	第3回定例会	第4回定例会	計
区分								
市長 提出議 案	予算・決算	1	24	1	3	21	5	55
	条例	1	9		4	7	8	29
	その他		27	3	7	10	5	52
	計(A)	2	60	4	14	38	18	136
議員 提出議 案	条例					1	2	3
	その他		1		5	2	1	9
	計(B)	0	1	0	5	3	3	12
議決状況	可決・同意	2	61	4	19	41	20	147
	否決							0
	継続審査							0
報告	専決処分		1	7		111	4	123
	その他				14	2		16
	計(C)	0	1	7	14	113	4	139
審議件数(A+B+C)		2	62	11	33	154	25	287

※第3回定例会における、専決処分の報告111件については、
損害賠償の額を定めることについてである

(4) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第1号	飯田市地域活性化交付金活用基金条例の制定について	23. 2. 10	23. 2. 10	可決
議案第2号	平成22年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案	23. 2. 10	23. 2. 10	可決
議案第3号	監査委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第5号	飯田市中央財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第6号	飯田市長野原財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第7号	飯田市時又財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第8号	飯田市桐林財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第9号	飯田市上川路財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第10号	飯田市駄科財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第11号	飯田市山本区財産区管理委員の選任について	23. 3. 1	23. 3. 1	同意
議案第12号	飯田市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例及び飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第13号	飯田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第14号	飯田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第15号	飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第16号	飯田市企業人材確保住宅条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第17号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第18号	飯田市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第19号	飯田市特定用途制限地域建築条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第20号	飯田市美術博物館条例の一部を改正する条例の制定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第21号	損害賠償の額を定めることについて	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第22号	市道路線の廃止について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第23号	市道路線の認定について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第24号	市道路線の変更について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第25号	財産の無償譲渡について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第26号	財産の無償譲渡について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第27号	財産の無償譲渡について	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第28号	工事請負契約の一部変更について (飯田西中学校屋内運動場改築事業本体建築工事)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第29号	工事請負契約の一部変更について (鼎中学校武道場改築建築工事)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第30号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市法山地域振興センター)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第31号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市箱川郷づくり研修センター)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第32号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市多世代交流プラザ)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第33号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市上村若者センター等)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第34号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市南信濃木沢都市山村交流促進施設)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第35号	公の施設の指定管理者の指定について (南信濃八重河内特産物加工施設)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第36号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市コミュニティ防災センター)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第37号	公の施設の指定管理者の指定について (飯田市北田遺跡公園)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第38号	平成22年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第39号	平成22年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第40号	平成22年度飯田市老人保険特別会計補正予算（第2号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第41号	平成22年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第42号	平成22年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第43号	平成22年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計補正予算（第1号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第44号	平成22年度飯田市病院事業会計補正予算（第3号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第45号	平成22年度飯田市各財産区会計補正予算（第1号）案	23.3.1	23.3.24	可決
議案第46号	平成23年度飯田市一般会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第47号	平成23年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第48号	平成23年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第49号	平成23年度飯田市介護保険特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第50号	平成23年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第51号	平成23年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第52号	平成23年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第53号	平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第54号	平成23年度飯田市下水道事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第55号	平成23年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決
議案第56号	平成23年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計予算（案）	23.3.1	23.3.24	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第57号	平成23年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算 (案)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第58号	平成23年度飯田市病院事業会計予算 (案)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第59号	平成23年度飯田市水道事業会計予算 (案)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第60号	平成23年度飯田市各財産区会計予算 (案)	23. 3. 1	23. 3. 24	可決
議案第61号	財産の取得について	23. 3. 10	23. 3. 24	可決
議案第62号	平成22年度飯田市一般会計補正予算 (第9号) 案	23. 3. 24	23. 3. 24	可決
議案第63号	副市長の選任について	23. 5. 13	23. 5. 13	同意
議案第64号	和解をすることについて	23. 5. 13	23. 5. 13	可決
議案第65号	平成23年度飯田市一般会計補正予算 (第1号) 案	23. 5. 13	23. 5. 13	可決
議案第66号	監査委員の選任について	23. 5. 13	23. 5. 13	同意
議案第67号	飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について	23. 5. 31	23. 5. 31	同意
議案第68号	飯田市千代財産区管理委員の選任について	23. 5. 31	23. 5. 31	同意
議案第69号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第70号	飯田市子育て短期支援事業の実施に係る分担金の徴収に関する条例の制定について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第71号	飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第72号	飯田市環境保全条例の一部を改正する条例の制定について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第73号	財産の無償譲渡について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第74号	財産の無償譲渡について	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第75号	委託協定の締結について (公共下水道松尾浄化管理センター機械電気設備等工事)	23. 5. 31	23. 6. 24	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第76号	工事請負契約の一部変更について（飯田西中学校屋内運動場改築事業本体建築工事）	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第77号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第78号	平成23年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	23. 5. 31	23. 6. 24	可決
議案第79号	損害賠償の額を定めることについて	23. 6. 13	23. 6. 24	可決
議案第80号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案	23. 6. 13	23. 6. 24	可決
議案第81号	飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第82号	飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第83号	飯田市有線テレビジョン放送施設条例及び飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第84号	飯田市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第85号	飯田市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第86号	スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第87号	飯田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第88号	南信州広域連合規約の変更について	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第89号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第90号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第91号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第92号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第93号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第94号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第95号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第96号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第97号	損害賠償の額を定めることについて	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第98号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第99号	平成23年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	23. 8. 31	23. 9. 30	可決
議案第100号	平成22年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第101号	平成22年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第102号	平成22年度飯田市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第103号	平成22年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第104号	平成22年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第105号	平成22年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第106号	平成22年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第107号	平成22年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第108号	平成22年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第109号	平成22年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第110号	平成22年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第111号	平成22年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第112号	平成22年度飯田市上村しらびそ高原観光事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第113号	平成22年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第114号	平成22年度飯田市病院事業決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第115号	平成22年度飯田市水道事業決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第116号	平成22年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について	23. 8. 31	23. 9. 30	認定
議案第117号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案	23. 9. 30	23. 9. 30	可決
議案第118号	平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	23. 9. 30	23. 9. 30	可決
議案第119号	飯田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	23. 11. 30	23. 11. 30	同意
議案第120号	教育委員会の委員の任命について	23. 11. 30	23. 11. 30	同意
議案第121号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第122号	飯田市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第123号	飯田市農業研修生住宅条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第124号	飯田市病院事業条例の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第125号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第126号	飯田市コミュニティ防災センター条例の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第127号	飯田市暴力団排除条例の制定について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第128号	財産の無償譲渡について	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第129号	公の施設の指定管理者の指定について（飯田市駄科コミュニティ防災センター）	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第130号	平成23年度飯田市一般会計補正予算（第6号）案	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第131号	平成23年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第132号	平成23年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）案	23. 11. 30	23. 12. 22	可決

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議案第133号	平成23年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第134号	平成23年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案	23. 11. 30	23. 12. 22	可決
議案第135号	飯田市基本構想基本計画について	23. 11. 30	23. 11. 30	可決
議案第136号	飯田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	23. 11. 30	23. 11. 30	可決

②議会提出議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
議会議案 第1号	機能的低血糖症に係る取り組みを求める意見書の提出について	23.3.24	23.3.24	可決
議会議案 第2号	水源域を避けたリニア中央新幹線のルート選定を求める決議について	23.6.24	23.6.24	可決
議会議案 第3号	市町村国民健康保険特別会計の安定化を求める意見書の提出について	23.6.24	23.6.24	可決
議会議案 第4号	福島第一原子力発電所の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する意見書の提出について	23.6.24	23.6.24	可決
議会議案 第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について	23.6.24	23.6.24	可決
議会議案 第6号	長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書の提出について	23.6.24	23.6.24	可決
議会議案 第7号	飯田市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について	23.9.30	23.9.30	可決
議会議案 第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	23.9.30	23.9.30	可決
議会議案 第9号	学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書の提出について	23.9.30	23.9.30	可決
議会議案 第10号	飯田市自治基本条例の一部を改正する条例の制定について	23.11.30	23.11.30	可決
議会議案 第11号	飯田市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定について	23.11.30	23.11.30	可決
議会議案 第12号	介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書の提出について	23.12.22	23.12.22	可決

③報告議案

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	23. 3. 1		
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市一般会計補正予算(第10号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市駐車場事業特別会計補正予算(第1号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市墓地事業特別会計補正予算(第1号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市下水道事業特別会計補正予算(第4号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第8号	専決処分の承認を求めることについて (平成22年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号))	23. 5. 13	23. 5. 13	承認
報告第9号	権利の放棄について(病院料金に係る債権)	23. 5. 31		
報告第10号	権利の放棄について(水道料金に係る債権)	23. 5. 31		
報告第11号	平成22年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第12号	平成22年度飯田市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第13号	平成22年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第14号	平成22年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第15号	平成22年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第16号	平成22年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	23. 5. 31		
報告第17号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		
報告第18号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第19号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		
報告第20号	財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		
報告第21号	財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		
報告第22号	株式会社ウッドアンドアースの経営状況を説明する書類の提出について	23. 5. 31		
報告第23号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第24号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第25号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第26号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第27号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第28号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第29号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第30号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第31号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (総務部関係))	23. 8. 31		
報告第32号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (企画部関係))	23. 8. 31		
報告第33号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (保健福祉部関係))	23. 8. 31		
報告第34号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (保健福祉部関係))	23. 8. 31		
報告第35号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (保健福祉部関係))	23. 8. 31		
報告第36号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (保健福祉部関係))	23. 8. 31		
報告第37号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (保健福祉部関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第38号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(水道環境部関係))	23. 8. 31		
報告第39号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(水道環境部関係))	23. 8. 31		
報告第40号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(水道環境部関係))	23. 8. 31		
報告第41号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第42号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第43号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第44号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第45号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第46号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第47号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第48号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第49号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第50号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第51号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(産業経済部関係))	23. 8. 31		
報告第52号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	23. 8. 31		
報告第53号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	23. 8. 31		
報告第54号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	23. 8. 31		
報告第55号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	23. 8. 31		
報告第56号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(建設部関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第57号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第58号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第59号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第60号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第61号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第62号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第63号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第64号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第65号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第66号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第67号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第68号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第69号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第70号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第71号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第72号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第73号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第74号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第75号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第76号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第77号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第78号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第79号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第80号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第81号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第82号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第83号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第84号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第85号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第86号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第87号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第88号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第89号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第90号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第91号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第92号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第93号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第94号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第95号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第96号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第97号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第98号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第99号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第100号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第101号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第102号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第103号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第104号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第105号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第106号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第107号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第108号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第109号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第110号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第111号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第112号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第113号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第114号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第115号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第116号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (建設部関係))	23. 8. 31		
報告第117号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (市立病院事務局関係))	23. 8. 31		
報告第118号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第119号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第120号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第121号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第122号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第123号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第124号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室関係))	23. 8. 31		
報告第125号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (危機管理・交通安全対策室))	23. 8. 31		
報告第126号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第127号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第128号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第129号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第130号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第131号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第132号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて (教育委員会関係))	23. 8. 31		

事件番号	事 件 名	上程日	議決月日	議決結果
報告第133号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて(教育委員会関係))	23. 8. 31		
報告第134号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	23. 8. 31		
報告第135号	平成22年度飯田市病院事業会計継続費精算報告書の報告について	23. 8. 31		
報告第136号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	23. 11. 30		
報告第137号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	23. 11. 30		
報告第138号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	23. 11. 30		
報告第139号	専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	23. 12. 12		

(5) 議会において執行した選挙・選任等

(平成23年1月～平成23年12月)

会期	年月日	選挙・選任の内容
第1回定例会	23.3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員の選任 ・ 人権擁護委員の候補者の推薦 ・ 中央財産区管理委員の選任 ・ 長野原財産区管理委員の選任 ・ 時又財産区管理委員の選任 ・ 桐林財産区管理委員の選任 ・ 上川路財産区管理委員の選任 ・ 駄科財産区管理委員の選任 ・ 山本区財産区管理委員の選任
第2回臨時会	23.5.13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副市長の選任 ・ 監査委員の選任
第2回定例会	23.5.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松尾財産区管理委員の選任 ・ 千代財産区管理委員の選任
第4回定例会	23.11.30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産評価審査委員会委員の選任 ・ 教育委員会の委員の任命

(6) 委員会活動開催状況

(平成23年1月～平成23年12月)

	常任委員会				特別委員会		議会運営委員会	議会制度検討委員会	議会だより編集委員会	全員協議会
	総務文教	社 会	産 業 経 済	建 設 環 境	庁舎建設	リニア推進対策				
委員会	10	6	10	9	12	14	25	8	10	
協議会	9	6	5	8		1				12
計	19	12	15	17	12	15	25	8	10	12

(7) 請願陳情

①委員会別審査状況

(平成23年1月～平成23年12月)

		処 理 状 況							合計
		採択	趣旨採択	審議未了	取下げ	不採択	審議中	議決を要さず	
請 願	総務文教	4	1						5
	社 会	1							1
	産業経済								
	建設環境								
	計	5	1						6
陳 情	総務文教	1	1			1			3
	社 会	1				1			2
	産業経済					1			1
	建設環境								
	計	2	1			3			6

※受理番号1件のもので、要旨が数項目ある場合

① 同一委員会で、すべての項目を審査し、全項目を一括採決した場合は、1件とする。

② 処理状況が複数にわたる場合は、その結果をそれぞれ1件とする。

③ 複数の委員会へ項目を分けて付託審査した場合は、それぞれを1件とする。

したがって②③の処理がされた場合は、「受付番号」の件数より、処理状況合計数は大きくなる。

②請願議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
総文	23請願 第1号	国に対し、福島第一原発の事故対策の強化、原子力政策の転換、自然エネルギーの研究開発・普及等に関する意見書を提出願いたい	23. 6. 13	23. 6. 24	採択
総文	23請願 第2号	国に対し、少人数学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書を提出願いたい	23. 6. 13	23. 6. 24	趣旨採択
総文	23請願 第3号	国に対し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を提出願いたい	23. 6. 13	23. 6. 24	採択
総文	23請願 第4号	県に対し、長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書を提出願いたい	23. 6. 13	23. 6. 24	採択
総文	23請願 第5号	国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい	23. 9. 9	23. 9. 30	採択
社会	23請願 第6号	国に対し、介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書を提出願いたい	23. 12. 12	23. 12. 22	採択

③陳情議決結果一覧表

所管	受理番号	要旨	上程月日	議決月日	議決結果
総文	23陳情第1号	市に対し、県民飯田運動広場のテニスコート（押洞コート）を全天候型砂入り人工芝コートへ改良すると共に、夜間照明の設置を提案願いたい	23.3.10	23.3.24	趣旨採択
社会	23陳情第2号	国に対し、機能性低血糖症に係る取り組みを求める意見書を提出願いたい	23.3.10	23.3.24	採択
社会	23陳情第3号	市に対し、飯田市国民健康保険運営協議会に被保険者代表について公募制度の導入を提案願いたい	23.3.10	23.3.24	不採択
総文	23陳情第4号	国に対し、電磁波犯罪集団ストーカーとこの犯罪に使用されている兵器の悪用を禁止し、取り締まる国際条約と国内法の制定を求める意見書を提出願いたい	23.6.24	23.9.30	不採択
産経	23陳情第5号	市に対し、飯田高原保健休養地沢城湖一帯の紛争問題について、早期解決を図るよう働きかけを願いたい	23.6.24	23.9.30	不採択
総文	23陳情第6号	国に対し、学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書を提出願いたい	23.9.9	23.9.30	採択

(8) 定例会の質問事項

①第1回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成23年3月9・10日

No.	氏名	項目・要旨
1	下平 勝熙 (市民パワー)	<p>1 平成23年度市政運営と予算方針について</p> <p>(1) 市民や議会各会派からの予算要望の実現に向けどう取り組んだか</p> <p>① 政策にどう反映したか</p> <p>② 実現できない要望の課題は何か</p> <p>(2) 行財政改革の観点から身の丈にあった財政運営をすべきと考えるかどうか</p> <p>(3) 地域自治組織について</p> <p>① 検証の結果を今後どう活かそうとしているか</p> <p>② 地域自治組織未加入の課題は何か</p> <p>③ パワーアップ交付金を増額する考えはないか</p> <p>(4) リニア中央新幹線に関連して</p> <p>① 市長はリニア中央新幹線のイメージをどのようにとらえているか所感を</p> <p>② 現飯田駅併設の優位性について、郡市民の理解をどう取り付けようとしているか考えを</p> <p>③ リニア将来ビジョンについて、各地区市民の反応はどのようなものか</p> <p>④ リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立について</p> <p>ア 根拠と目的は</p> <p>イ 工程、期限などの「マニフェスト」はあるか</p> <p>2 環境政策について</p> <p>(1) 生ごみ等の再資源化の検討について</p> <p>① 生ごみ収集地区拡大の可能性はあるか</p> <p>② バイオ活用で新エネルギー化の検討は考えられないか</p>
2	井坪 隆 (会派みらい)	<p>1 平成23年度市政経営の方向について</p> <p>(1) リニア中央新幹線に対応する、当面の課題について</p> <p>① 今後、長野県への働きかけをどのように考えているか</p> <p>(2) 「地域経済活性化プログラム2011」について</p> <p>① 市田柿ブランドの推進に、飯田市はどのように関わっていくか</p> <p>(3) 「安心して健やかに暮らせるまちづくり」について</p> <p>① 「地域健康ケア計画2011」策定の理念は何か</p>
3	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) リニア中央新幹線飯田駅現駅併設について</p> <p>① 現在、国やJR東海はどのような発表をされているか</p> <p>② 飯田市を始めとする南信州広域連合の意思は、現JR飯田駅併設となっているが、今後の対応をどのように考えているか</p> <p>③ 現JR飯田駅を核としたインフラ整備の状況はどうなっているか</p> <p>ア 中心市街地</p> <p>イ 羽場大瀬木線</p> <p>ウ 三遠南信自動車道</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	<p>④ 人材育成の観点から、リニアを題材とした飯田市らしい、小中学校の授業展開を考えてはいかがか</p> <p>ア 社会見学 イ 修学旅行 ウ 美術博物館などでの勉強会など</p> <p>2 地域資源の活用について (1) 環境モデル都市、環境文化都市、小さな世界都市等としての将来ビジョンについて</p> <p>① 各地域の資源を活かすことが、将来の観光客誘致や定住者増加、地域活性化、にぎわいへの鍵と考えるがどうか ② 環境を前面に出した教育環境づくり（学校整備）が、将来を担う人材に必要と考えるがどうか</p>
4	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 「21世紀型の中心市街地総合再生」に向けて (1) 市長年頭所感にある「21世紀型戦略的地域づくり」における「21世紀型戦略」とはなにか (2) 南信州の「中心核」としての中心市街地再生について</p> <p>① 中心市街地の再生においても、「21世紀型の考え方」による「仕組みの組替え」が必要と思うがどうか ② 中心市街地再生に向けた、これまでの成果をどのように評価しているか ③ リニアに相応しい環境モデル都市づくり事業を中心市街地でどのように展開するか ④ 「小さな世界都市」に相応しい都市景観づくりをどのように進めるべきか ⑤ 絆ある暮らしの再生をどう進めるか (3) 後期5ヵ年計画に向け、「21世紀型の中心市街地総合再生」を如何に進めるべきか</p>
5	吉川 秋利□ (会派のぞみ)	<p>1 教育委員会のあり方について (1) 教育委員会の指導性とはどのようなものか (2) 教育委員会に対するチェック機能はどのようになっているか、また、チェック機関はどのようなものが考えられるか</p> <p>2 小中連携の一貫教育について (1) 小中連携の一貫教育の目指すところは何か ① 学力向上はどの程度見込めるか ② 小一プロブレム、中一ギャップ、不登校等に対する効果はどのように見込んでいるか (2) 具体的な実践についての問題点はどのように受け止めているか</p> <p>3 キャリア教育について (1) キャリア教育の目指すものは何か (2) 取り組み状況はどうか (3) 現在の効果・実績はどのようになっているか</p>
6	内田 雄一 (日本共産党)	<p>1 学校給食について (1) 大規模共同調理場の現状をどのように考えているか ① 共同調理場の設備改修と調理場の規模について今後のあり方はどう考えているか ② 遠方の学校から自校調理方式への転換は考えられないか (2) 食育推進と学校給食のかかわりについて</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	内田 雄一	<ul style="list-style-type: none"> ① 共同調理場と自校調理方式で地元産食材の利用に違いはあるか ② 学校給食を通じた食育の強化をどのように進めるか <p>2 全国一斉学力調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成23年度の実施方針について <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市教育委員会の全国一斉学力調査に対する所見はどうか ア 悉皆調査から抽出調査に変わった経緯をどう認識しているか イ 学校現場の声を聞いて実施方針を検討したか ② 希望利用とした実施方針の決定はどのような手順でなされたか
7	福沢 清 (会派みらい)	<p>1 新地方公会計制度による飯田市の財務諸表について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 財務諸表のわかりやすい解説と情報公開はどう考えているか (2) 計算方法としての基準モデルについて <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市としてこのモデルを選んだ理由は ② 現状分析と活用方法はどうか (3) 平成21年度の財務諸表について <ul style="list-style-type: none"> ① 貸借対照表で純資産比率が増えているが、どう分析しているか ② 貸借対照表の財源が増えているが有効に利用しなかったのではないか ③ 行政コスト計算書の経常費用が増えた理由はなにか ④ 純資産計算書の開始時未分析残高の計算根拠は (4) 平成23年度の予算との関連について <ul style="list-style-type: none"> ① 純資産比率は何パーセントとなるか ② 財源の残高はいくらか <p>2 住民基本台帳カードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の発行枚数と普及率はどうか (2) 現在と今後のカードの使い道はどうか (3) 今後の住基カードの普及と活用の拡大はどうか (4) 個人情報の保護の問題はどうか <p>3 自治体クラウドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自治体クラウドについて、飯田市としてどう考えているか (2) 自治体クラウドの課題について <ul style="list-style-type: none"> ① 住民データの取り扱いについて課題は何か ② 医療部門に活かしていく必要はどうか ③ 今後の人材育成はどうか <p>4 低炭素社会基本条例について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 条例策定は進めるか (2) 審議会のメンバーはどうか (3) 策定のスケジュールはどうか
8	村松 まり子 (公明党)	<p>1 支え合う地域社会づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 高齢者の地域見守りネットワークの強化や高齢者の地域における外出・買い物などの生活支援サービスの充実をどう考えているか

No.	氏名	項目・要旨
	村松 まり子	<p>(2) 子育てなどの不安に悩む母親などへの「家庭訪問付き相談支援事業」の現状と課題は</p> <p>(3) ニート、ひきこもりなどの子ども・若者を総合的に支援する体制の強化をどう考えているか</p> <p>2 地域を支える公共交通について</p> <p>(1) 公共交通の現状と課題は</p> <p>(2) 駒場線沿線の空白区はどうするか</p>
9	林 幸次 (公明党)	<p>1 平成23年度の市政経営方針について</p> <p>(1) 市政方針の第一に「リニア時代を見据えた21世紀型戦略的地域づくり」を掲げた趣旨と、このテーマにかける市長の思いは何か</p> <p>(2) 当地域の将来像として掲げた「小さな世界都市」「多機能高付加価値都市圏」の具体像は何か</p> <p>(3) 将来都市像実現のための施策を、基本構想・基本計画の後期計画にどう反映させるか</p> <p>2 平成23年度予算編成について</p> <p>(1) 国債発行額が税収を大きく上回るという国の財政運営についての市長の認識はどうか</p> <p>(2) 国の税制改革による影響について</p> <p>① 平成23年度で、法人実効税率を5%引き下げるとしているが、当市への財政影響はどうか</p> <p>② 年少扶養控除および特定扶養控除の上乗せ分廃止による、当市への財政影響はどうか</p> <p>(3) 市政方針に基づいて重点的に予算配分した施策は何か</p> <p>(4) 集中改革プランによる財政改革の成果と、予算への成果の反映状況はどうか</p>
10	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 林業活性化計画について</p> <p>(1) 切り捨て間伐から搬出間伐移行への課題は</p> <p>(2) 森林作業道作設マニュアル活用について市の考えは</p> <p>(3) 飯伊野生鳥獣被害対策チームの活用と効果は</p> <p>(4) 新庁舎建設にあたり地域産材の使用は</p> <p>(5) 共同製材施設の建設取り組みに対して市との関わりはどうなっているか</p> <p>2 公共事業入札制度の見直しについて</p> <p>(1) 地域の建設業者受注拡大の検討について</p> <p>① 地域業者の雇用を支えるための対策は</p> <p>② 災害対応や除雪（塩カル散布）出動の役割があり、自由競争では地域社会の衰退につながると思うが市の考えは</p> <p>③ 地域維持型の契約方式を導入する考えは</p>
11	伊壺 敏子 (日本共産党)	<p>1 地方財政計画と飯田市当初予算編成について</p> <p>(1) 地方交付税や補助金の状況について</p> <p>① 平成23年度は、国の別枠加算により地方財政対策が拡充され増額したということであるが、その内容はどのようなものか。また、次年度以降をどのように考えるか</p> <p>② 「地域主権改革」を掲げる政権による2回目の予算編成となったが、昨年と比べて、飯田市の予算編成に変化があったか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	伊壺 敏子	<p>③ 府や省が隔たりなく一括して補助をするとして一括交付金は、平成22年度はどのようになっているか</p> <p>④ 補正予算を財源として、その年度内だけでなく2～3年度の事業を対象にした基金(県の基金も含めて)は、現在どのようなものが、どのくらいあるか</p> <p>(2) 飯田市の予算編成の考え方について</p> <p>① 厳しい経済情勢、雇用情勢下での産業・雇用支援策をどのように考えたか</p> <p>② 社会・高齢者・児童といった福祉費や、生活保護費、教育費などの扶助費の自然増が予想されるが、どのように考え予算化したか</p> <p>③ 「リニア時代を見据えた21世紀型戦略的地域づくり」をどのように反映させたか</p> <p>(3) 今後「地域主権改革」について、どのような課題があるか考えるか。また、国に対して地方から何を発信していこうと考えるか</p>
12	木下 克志 (会派のぞみ)	<p>1 外国資本による森林買収対策について</p> <p>(1) 市として外国資本による森林買収の実態をどの様に考えているか</p> <p>① 条例を制定する考えはあるか</p> <p>② 研究組織を設置する考えはあるか</p> <p>2 ナラ枯れについて</p> <p>(1) 飯伊地方の発生状況はどうか</p> <p>① 熊出没との関係は</p> <p>② 今後の防除対策はどうか</p> <p>3 教育について</p> <p>(1) 昨年の全国学力テストの厳しい分析結果を受け学力強化への姿勢転換をどう図ったか</p> <p>① その経過の中でどのような課題があったか</p> <p>② それをどう乗り越えようとしているか</p> <p>(2) 新学習指導要領について</p> <p>① 授業時数の増加や新科目(外国語活動)についての課題は何か</p> <p>(3) 「信濃の国」を通じた教育について</p>
13	牛山 満智子 (無会派)	<p>1 LED防犯灯について</p> <p>(1) 平成21年度から26年度の間に、市内の6,000の防犯灯をLED化する計画だが、1灯当たりの価格はどれ位か</p> <p>(2) 飯田市の2企業グループの年間生産可能個数はどれ位か</p> <p>(3) そのペースで生産していくと、研究開発費はどれ位で回収できるか</p> <p>(4) 飯田市以外で販路拡大の実績はどうか</p> <p>(5) 飯田市以外の防犯灯との競争力はどうか</p> <p>2 地元企業が海外や地域外へ生産拠点を移す動きについて</p> <p>(1) 地元企業が中国及び東南アジアへ生産拠点を移す動きがあった</p> <p>① その原因は何か</p> <p>② 現在はどのようになっているか</p>

No.	氏名	項目・要旨
	牛山 満智子	<p>(2) 今この時期に経済基盤を空洞化させてはならない。市としてはどのような対応をとっているか</p> <p>(3) 飯田の精密機械・電子・自動車・航空機関連企業等にとって必須のレアメタル、レアアースメタルの調達について</p> <p>① 現在の調達状況と調達ルートを把握しているか</p> <p>(4) 原材料入手の為に市がもっと力を入れ企業と協力連携する気があるか</p>
14	原 和世 (会派みらい)	<p>1 野積みを規制する環境保全条例について</p> <p>(1) 延期になってしまった条例改正ではあるが、どのように検討を進めてきたか</p> <p>(2) 条例改正のポイントは何か</p> <p>2 平成23年度市政経営の方向について</p> <p>(1) 平成22年度当初予算と23年度当初予算の考え方の相違点は何か</p> <p>(2) 具体的な市政経営の展開に関しての留意点は</p> <p>① 経済の自立度を高める多様な産業の推進では</p> <p>② 地育力による心豊かな人づくりでは</p> <p>③ 多様性に富んだ暮らしと文化を次世代に継承する地域づくりでは</p> <p>④ 行財政改革の推進では</p>
15	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 平和・人権の取り組みについて</p> <p>(1) 第5次基本構想基本計画の中での平和・人権施策について</p> <p>① 第5次基本構想基本計画が折り返しの年を迎えるが、後期基本計画には、平和施策、人権施策はどのように位置付けられていくか</p> <p>(2) 平和施策の推進について</p> <p>① 「非核平和都市宣言」について</p> <p>ア 飯田市が非核平和都市宣言をしたのはいつか</p> <p>イ 宣言を行った後、飯田市として、どのような平和施策を行ってきたか</p> <p>ウ 具体的な平和関連の事業に今後どのように取り組むか</p> <p>② 「平和市長会議」や「日本非核宣言自治体会議」に加盟する意志はないか</p> <p>③ 高森町では「平和推進条例」を制定されたが飯田市でも「平和条例」を制定する考えはないか</p> <p>(3) 子どもの目線を大切にしたい平和・人権教育について</p> <p>① 次世代を担う子どもの目線での平和・人権教育をどう考えているか</p> <p>② 長崎市で取り組まれている「ナガサキ平和学習プログラム」に見られるような平和学習に取り組めないか</p>
16	清水 可晴 (市民パワー)	<p>1 B-1 グランプリの取り組みと協働のまちづくりについて</p> <p>(1) B-1 グランプリ参加への支援体制について</p> <p>① 南信州・飯田五平もち楽会の取り組み状況について</p> <p>ア 愛Bリーグ登録までの民間活動状況と行政の関わりは</p> <p>② B-1 グランプリ大会に向けての支援体制について</p> <p>ア 官民協働で姫路大会をめざすべきと考えるがどうか</p> <p>イ 今後の事務局体制と支援策をどう考えているか</p> <p>2 地育力の向上と効果的な事業推進について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 可晴	<p>(1) 地域で子どもを育て、郷土を愛する心を育む取り組みについて</p> <p>① 人生の節目での効果的な事業推進について</p> <p>ア 「2分の1成人式」の活動状況は</p> <p>イ 成人式の検証を行う考えは</p> <p>3 産業の育成と雇用・労働者保護について</p> <p>(1) 建設業者職人の育成について</p> <p>① 住宅リフォーム助成制度と職人の育成について</p> <p>ア 飯下建設産業労働組合が要望しているが検討状況はどうか</p> <p>イ 職人の育成が必要と思うがどうか</p> <p>(2) 入札制度における下請負人の保護対策について</p> <p>① 下請けの支払状況を確認する、契約後の確認調査を実施する考えはあるか</p> <p>② 下請要件付き入札制度を導入すべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 市の臨時職員等の待遇改善について</p> <p>① 臨時職員の賃金改善と育児休業制度の現状は</p> <p>② 旧市5地区のまちづくり委員会事務補助の助成金を増額する考えはあるか</p> <p>(4) 特養2 荘の指定管理完全移行について</p> <p>① 特養2 荘の指定管理元として、制度導入後のサービス等の検証について</p> <p>ア 従前のサービスの引継ぎは十分できているか</p> <p>イ 吸引等の介護技術や事故の未然防止策はできているか</p> <p>② 社協労働者の処遇について</p> <p>ア 介護職員処遇改善交付金による処遇改善はどうなっているか</p> <p>イ 人材の確保状況はどうか</p> <p>③ 行財政改革による特養2 荘の指定管理の姿勢について</p> <p>ア 市の職員派遣についてどう考えているか</p> <p>イ 市立病院、ゆうゆう、特養との連携が必要と思うがどうか</p>
17	永井 一英 (公明党)	<p>1 小・中学生に対する社会貢献への意識付けについて</p> <p>(1) 社会に貢献したいという気持ちを育てることが大切と考えるがどうか</p> <p>(2) 学校現場や地域の中で社会貢献活動はどのように行われているか</p> <p>2 小・中学生の体験活動について</p> <p>(1) 小・中学校における体験活動について、その意義やあり方をどのように考えているか。また、計画的に実施されているか</p> <p>(2) 地育力向上連携システム推進計画に位置付ける体験活動を今後どのように推進していくか</p> <p>(3) 今後のキャリア教育の進め方についてどのように考えているか</p> <p>3 地域と小・中学校との関わり方について</p> <p>(1) どのように考えているか</p> <p>(2) 例えば体験活動を実施するに当たって、地域と小・中学校との関わり方についてどのように考えているか</p>
18	後藤 荘一 (日本共産党)	<p>1 国民健康保険について</p> <p>(1) 平成22年度の決算見込みはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 莊一	<ul style="list-style-type: none"> (2) 平成23年度の給付費の見込みはどうか (3) 国庫支出金に対してどう考えるか (4) 基準外繰り入れに対する考えは (5) 基金についての考えはどうか (6) 予備費をどう考えていくか (7) 国保税の収納率はどう推移しているか (8) 国保税率は本算定でどうするか (9) 応能応益割合の基準緩和がされているが、どう反映していくか (10) 国保広域化はどう考えるか
19	清水 勇 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成23年度予算編成について <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成22年度予算との比較について <ul style="list-style-type: none"> ① 一般会計予算の特徴と歳入・歳出をどのように考え計上したか ② 特別会計予算も増大しているが、歳入・歳出の特徴はなにか (2) 国の予算、関連法案の飯田市への影響について <ul style="list-style-type: none"> ① 予算に対してどう影響が考えられるか ② どのような対応を考えているか 2 5つの基本方針・予算について <ul style="list-style-type: none"> (1) 産業・経済について <ul style="list-style-type: none"> ① 経済対策をどのように考えているか ② 具体的な経済対策を考えているか (2) 三遠南信自動車道と天龍峡再生事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 三遠南信自動車道の現状と今後の事業計画は <ul style="list-style-type: none"> ア 関係地域のアクセス道の考えは ② 天龍峡IC近辺の国の土地利用をどう考えているか ③ 天龍峡大橋と天龍峡再生事業をどう考えているか 3 指定管理者について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市の指定管理者による管理施設数は (2) 管理施設、管理者に対して市の取り組み内容は (3) 管理施設の地デジ対策は
20	森本 美保子 (会派みらい)	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校教育について <ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校の英語教育について <ul style="list-style-type: none"> ① 2011年4月から英語が小学校5、6年生の必修授業になるが飯田市の取り組み状況は ② 小学校学習指導要領第4章外国語活動の中にコミュニケーションの能力素地を養うとあるが、飯田市としてどう取り組むか ③ 小学校英語指導者について ④ 中学校との連携と小中一貫教育の英語の位置付けについて ⑤ 強固な反対意見があるが、飯田市教育委員会としての考えは (2) 保健室へのクーラー設置について 2 高齢者福祉について <ul style="list-style-type: none"> (1) 成年後見制度と市民後見人について

②第2回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成23年6月10・13日

No.	氏名	項目・要旨
1	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 長野県知事に対し、5つの柱を要望されたが、その真意はなにか</p> <p>① 「小さな世界都市」、「高付加価値都市圏」など戦略的地域づくりとはなにか</p> <p>② 安全性と環境配慮（特に水源地）についてどう考えるか</p> <p>③ 既存インフラを活用した交通ビジョンをどう考えるか</p> <p>④ 飯伊地区期成同盟会など現JR飯田駅併設についての考えは</p> <p>⑤ 上記を踏まえ、県の対応が強く必要と考えるがどうか</p> <p>2 新エネルギーへの取り組みについて</p> <p>(1) 耕作放棄地、遊休荒廃地を利用して民間企業が県を通し新エネルギー対策に乗り出す動きがあるがどう考えるか</p> <p>① 耕作放棄地、遊休荒廃地はどのくらいあるか</p> <p>② ここ数年その農地面積の推移は</p> <p>③ 民間企業と県との話の内容は</p> <p>④ 飯田市に打診はあったか</p> <p>⑤ 飯田市の考えはどうか</p> <p>(2) 東日本大震災を契機に新たなエネルギー確保と安全確保が必要と考えるが飯田市としてはどう考えるか</p> <p>① 原発事故による飯田市独自の指針はどう示すか</p> <p>② 自然エネルギーについて今後の対応をどう考えるか</p>
2	福沢 清 (会派みらい)	<p>1 飯田市の交付税と起債について</p> <p>(1) 上郷合併以降の飯田市の交付税の推移はどうか</p> <p>(2) 飯田市の起債は、一般会計、特別会計、広域の負担分を合わせてどのくらいか</p> <p>2 桐林焼却場とバイオマス発電について</p> <p>(1) 現焼却場と新焼却場の経費比較はどうか</p> <p>(2) 現焼却場の継続使用は可能かどうか</p> <p>(3) 飯田市における生ごみの収集に係る現状と今後の計画はどうか</p> <p>(4) バイオマス施設のメリット、デメリットは</p> <p>(5) 飯田市の今後のごみ処分の処理経費はどう変わるか</p> <p>3 ポイ捨て条例の制定について</p> <p>(1) ごみの不法投棄やポイ捨ての飯田市の現状をどう見るか</p> <p>(2) ポイ捨て条例の必要性和有効性をどう考えるか</p> <p>(3) ポイ捨て条例の内容についてどう考えるか</p>
3	内田 雄一 (日本共産党)	<p>1 市民の健康を守る国民健康保険制度をどのように堅持していくか</p> <p>(1) 国保運営協議会で委員から出された意見をどのように受け止めているか</p> <p>① 市長はどのように考えているか</p> <p>② 一般会計からの基準外繰り入れをどのように考えているか。来年度以降の長期的な考え方はどうか</p> <p>③ 基金がゼロになる見通しだが、どのように対処するか</p> <p>(2) 国保世帯の負担について</p>

No.	氏名	項目・要旨
	内田 雄一	<ul style="list-style-type: none"> ① 国保世帯の所得に対する負担割合は適切か ② 差し押さえなどの滞納整理の実施状況は (3) 子供の加入率の高い市町村国保に対する特別調整交付金とはどうい うものか (4) 増え続ける保険給付費を抑制する有効手段としてどのような対策が 考えられるか <ul style="list-style-type: none"> ① 保健事業の実施状況と効果、今後の展開はどうか ② 保健師の役割とは。現状の人員で十分か (5) 国保についての国・県の動向を把握しているか <ul style="list-style-type: none"> ① 国保広域化についてはどうか ② 地方税滞納整理機構の状況はどうか
4	井坪 隆 (会派みらい)	<ul style="list-style-type: none"> 1 第5次基本構想・基本計画後期計画の策定にあたって <ul style="list-style-type: none"> (1) 「大型事業の見直し」について <ul style="list-style-type: none"> ① その考え方と具体的な方針は、どのようなものか (2) 中心のあるコンパクトシティの創造について <ul style="list-style-type: none"> ① 魅力ある街の実現に向けて「丘の上」を、どう活かしていく か (3) 「野底山森林公園」について <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市の公園としてどうあるべきか。地域経営の中での位置 付けをどのように考えるか 2 放射線量の測定について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市が独自で放射線量を測定、公表する考えはないか
5	清水 可晴 (市民パワー)	<ul style="list-style-type: none"> 1 セーフコミュニティによる安全安心のまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> (1) セーフコミュニティの推進について <ul style="list-style-type: none"> ① セーフコミュニティを体系化し、安全安心のまちづくりを位 置付ける考えは <ul style="list-style-type: none"> ア 市の安全安心の取り組みの現状とセーフコミュニティの取り 組みは同じか ② 小さな世界都市をめざすために、セーフコミュニティの国際 認証は有効ではないか <ul style="list-style-type: none"> ア WHOセーフコミュニティ協働センターによる認証取得の考えは イ リニア時代を見据えて、地域のイメージアップが期待できると 思うが、地域の協働、地域再生、事故の減少、医療費削減 の評価基準づくりは ③ 地域健康ケア計画にセーフコミュニティの理念と行動計画を 組み込んだらどうか <ul style="list-style-type: none"> ア 子どもの事故、高齢者の事故、交通事故、自殺、災害、暴 力・虐待、余暇活動の事故、労働災害の現状と予防策は イ 健康づくり家庭訪問で、安全安心を心配する意見は寄せられ ているか ウ 安全安心の総点検の取り組みは ④ 安全で安心なまちづくりに向けて <ul style="list-style-type: none"> ア 安全都市宣言の見直しは イ 安全安心のまちづくり条例の制定は
6	林 幸次 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> 1 東日本大震災を教訓とした防災対策の強化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 今回の大震災から学ぶべき教訓は何か

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	林 幸次	<ul style="list-style-type: none"> (2) 防災計画・防災備蓄機材の整備計画の検証をどう進めるか (3) 避難所となる学校施設の防災機能の向上について <ul style="list-style-type: none"> ① 学校施設等の防災機能整備の現状と今後の対策はどうか (4) 被災者支援システムの導入・活用状況はどうか (5) 地方自治体の事業継続計画（BCP）の策定は (6) 住宅の耐震診断・耐震改修の推進策はなにか (7) 節電対策についてどう取り組むか (8) 被災者・被災地への支援について <ul style="list-style-type: none"> ① 避難している被災者の雇用や住宅の確保の推進は ② 被災地への復興支援の状況はどうか <p>2 食品ロス削減の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内における食品廃棄物量の実態はどうか (2) 食品ロス削減への取組状況は (3) フードバンク設立の検討をすべきではないか
7	永井 一英 (公明党)	<p>1 環境政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「21' いいだ環境プラン」について <ul style="list-style-type: none"> ① 環境目標の達成状況は ② 第3次の改定にあたってその方向性は (2) 「日本の環境首都コンテスト」への応募の取り組みの中で飯田市が学んだことは何か <p>2 エネルギー政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 東日本大震災は、日本のエネルギー政策にどのような影響を与えたか <ul style="list-style-type: none"> ① 浜岡原発の全面停止による飯田市への影響は (2) 東日本大震災を受けて、飯田市では省エネの取り組みをどのように加速させるか (3) 飯田市におけるエネルギー政策の方向性は (4) 自然エネルギーの利活用について <ul style="list-style-type: none"> ① バイオマスの利活用の取り組みは ア 生ごみの利活用の取り組みは ② 太陽光発電の取り組みは ③ 小水力発電の取り組みは
8	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 東日本大震災の教訓から何を学ぶか</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 脱原発と再生エネルギーの構築について <ul style="list-style-type: none"> ① 脱原発に向けた国の動きをどうとらえているか ② 太陽光発電の普及の現状はどうか。また、今後の見通しは ③ 節電の推進を、今後どう進めるか ④ 計画停電が実施された場合、医療機関など電源確保の必要性をどう考えているか (2) 耐震補助の現状と今後の対応について <ul style="list-style-type: none"> ① 市で行っている家屋の耐震補助実施の現状はどうか ② 東海地震が心配されている現在、耐震補助を拡大して実施する意志はないか (3) 災害時の復興のための基金について <ul style="list-style-type: none"> ① 災害復興のための基金は、どの程度準備されているか。また、今後の見通しはどうか (4) 災害時における戸籍等、情報管理の現状はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
9	牛山 満智子 (無会派)	<p>1 新しい公共について</p> <p>(1) 飯田市のNPOの実態は</p> <p>① 市としてどう把握しているか</p> <p>② 運営などの実態を知る取り組みをしているか</p> <p>(2) 市民やNPOとの協働について</p> <p>① 協働についてどのように考えているか</p> <p>② 具体的にはどんな施策・事業を行っているか</p> <p>(3) 県の「新しい公共」推進事業について</p> <p>① 事業についてどのように考えるか</p> <p>② 県のモデル事業に手を挙げて取り組む考えはあるか</p> <p>2 指定管理者制度について</p> <p>(1) 協定書について</p> <p>① 不備が多いようだが、企画課からの文書での確認、依頼だけで改善されるか</p> <p>② 明確に記載のなかった施設に対し、指定管理料の支払いがあったのは不適切ではないか</p> <p>③ 指定管理料に含まれるべき経費を、市が直接負担していたというが二重払いではないか</p> <p>(2) 職員の適正な配置について</p> <p>① 指定管理者制度は行財政改革の一端であるが、職員削減につながったか</p> <p>② 監査で指摘があったことをすべてクリアするのに職員配置は適切か</p> <p>3 ポリオ予防接種について</p> <p>(1) 飯田市の対応について</p> <p>① ポリオ予防接種は生ワクチンか</p> <p>② 接種率は</p> <p>③ 厚労省では認めていない不活化ワクチン接種は考えられないか</p> <p>④ 他地区での取り組みを参考にできないか</p> <p>⑤ 市の補助は考えられないか</p>
10	下平 勝熙 (市民パワー)	<p>1 東日本大震災に関連して</p> <p>(1) 地方財政に与える影響について</p> <p>① 国の動向を現時点でどのように把握、対応しているか</p> <p>② 飯田市予算への影響は</p> <p>ア 平成23年度予算に与える影響についてどう考えるか</p> <p>イ 次期飯田市行財政改革へ与える影響についてどう考えるか</p> <p>③ 庁舎建設やリニア中央新幹線など大型事業への影響についてどう考えるか</p> <p>2 第5次基本構想後期計画について</p> <p>(1) 後期5年間で取り組むべき事項の抽出の根拠・方法をどう考えるか</p> <p>① 前期4年間の評価と検証の取り組みは</p> <p>② 公共施設の長寿命化計画をどう考えるか</p> <p>③ 定住自立圏やリニア中央新幹線などの諸計画との整合性はどうか</p> <p>④ 将来にわたるコスト計算と財源の確保についてはどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
11	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 危機管理対策について</p> <p>(1) 東日本大震災対応から学び得たものは</p> <p>(2) 東海地震にそなえた防災のあり方は</p> <p>(3) 市役所始め各まちづくり委員会等の災害対策のマニュアルの見直しは</p> <p>(4) 中山間地域が孤立化しないための強化策は</p> <p>(5) 難視聴地域に対するサテライトアンテナの設置は</p> <p>2 観光産業の取り組みについて</p> <p>(1) 広域的な観光産業の現状と評価の検証は</p> <p>(2) まちなか誘客促進事業と飯田駅周辺の整備計画の取り組み状況は</p> <p>(3) 名勝天龍峡活性化の今後の取り組みは</p> <p>(4) 遠山郷観光戦略プロジェクト事業の今後の取り組みをどう考えるか</p> <p>(5) 長野県地域資源製品開発支援センターの活用は</p> <p>3 合併特例債の活用状況について</p> <p>(1) 現在までの活用状況は</p> <p>(2) 今後の活用計画は</p>
12	原 和世 (会派みらい)	<p>1 平成23年度市政経営の方向性について</p> <p>(1) 中山間地振興対策における定住支援の推進をどのように考えるか</p> <p>① 健康で健全に暮らすための買い物弱者対策は</p> <p>② 降雪などから生活道路を護ることは</p> <p>③ 新たな自治の仕組みを考える調整役・仕掛け役の育成と配置は</p> <p>④ パワーアップ交付金に目的と用途を組み込むことは</p> <p>(2) 行財政改革の推進をどのように考えているか</p> <p>① 平成23年度で終了する集中改革プランの評価は</p> <p>② 事務事業の再編整理の考え方は</p> <p>③ 次期改革プランの推進体制をどのように考えるか</p> <p>2 経済自立度を高める産業施策の推進について</p> <p>(1) 産業政策推進における現場主義をどう考えるか</p> <p>① 産業経済部の分散の評価は</p>
13	森本 美保子 (会派みらい)	<p>1 多文化共生について</p> <p>(1) 外国人集住都市会議について</p> <p>① 外国人集住都市会議の概要と飯田市の取り組み状況は</p> <p>② 2年間の座長としての役割は</p> <p>(2) 自治基本条例の中に国際交流又は、多文化共生を取り入れている自治体があるが、飯田市の考え方はどうか</p>
14	後藤 莊一 (日本共産党)	<p>1 防災対策について</p> <p>(1) 原子力発電行政について</p> <p>① 国の原発行政やエネルギー政策は適正と思うか</p> <p>② 浜岡原発の運転停止をどう考えるか</p> <p>③ 節電をどうするか</p> <p>④ 自然エネルギーの割合を増やす声が大きくなっているが、どう考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 莊一	<p>(2) 飯田市において、大規模災害で被害が広域に及んだ場合について</p> <p>① 避難所の数は確保できるか ② その場合、避難所に職員は適切に配置できるか ③ 情報の受発信はどうか ア いいだFMの活用が最終的には情報発信に有効と思うかどうか イ 上村、南信濃地域はどうか</p> <p>(3) 市内のため池等の耐震について</p> <p>① 耐震診断は行っているか ② 耐震基準は満たしているか</p> <p>2 住宅リフォーム助成制度について</p> <p>(1) 複数の議員、団体が要望提案し、研究、検討するという答弁や回答がされているが、どういう研究・検討結果に至っているか (2) 今の市内の住宅建築や改修の状況はどうか (3) 他市町村の取組状況は把握しているか</p>
15	伊壺 敏子 (日本共産党)	<p>1 指定管理者制度について</p> <p>(1) 制度導入の基本的な考え方はどのようなものか (2) 行財政改革大綱での位置づけはどのようなものか (3) 「指定管理者制度ガイドライン」に沿った、指定管理者制度の運用がなぜ出来なかったと考えるか (4) 監査の提言にあるような、第三者的評価を採用する考えはあるか (5) 今後対象となる施設の予定はあるか</p> <p>2 部署名の改名について</p> <p>(1) 保健福祉部を健康福祉部にしたらどうか (2) 介護高齢課を長寿支援課にしたらどうか</p>
16	清水 勇 (会派のぞみ)	<p>1 災害時における危機管理体制について</p> <p>(1) 避難施設、避難地の安全性について状況を把握しているか ① 避難施設の耐震についてどのように取り組んでいるか ② 施設の耐震補強についてどのように考えていくか (2) 各地区拠点本部との連絡方法はどのように考えているか ① マニュアル化はされているか ② 各地区拠点本部の補助発電機、備蓄倉庫などの状況はどうか (3) 今回の震災を踏まえて、飯田市の防災体制をどのように考えていくか</p> <p>2 市営住宅の入居状況について</p> <p>(1) 現在の入居状況についてどう把握しているか、入居申し込み状況は</p> <p>① 現状の入居者は入居条件を継続的に満たしているか ② 景気回復が見込めない中で、子育て世代、収入の少ない家族など、市営住宅入居を希望しているがどのように考えているか</p> <p>3 指定管理者制度について</p> <p>(1) 監査報告が市側に提出されてから3ヶ月が経過するが現状の取り組み状況は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	<ul style="list-style-type: none"> ① 制度導入施設の種類により、管理運営方法が異なるが、基本協定書と年度協定書、仕様書などいつまでに対応していくか、施設で起こる事故等の責任については明確に記載されているか ② 管理状況の検証、管理運営の評価と公表をどのように考えているか
17	吉川 秋利 (会派のぞみ)	<p>1 予算執行について</p> <p>(1) 平成23年度当初予算の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校等の耐震化工事の昨年度完了にも関わらず、10億円の予算増となった理由は何か ② 予算増となった主な事業計画における国県支出金との関係はどのようになっているか <p>(2) 東日本大震災との関連について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国の方針の変更もあり、この影響はどのように考えているか ② 補正予算の検討が必要と考えるが、見通しはどのように判断しているか ③ 経済的なダメージをどのように捉えているか ④ 中小企業への支援はどのように考えているか <p>(3) 平成24年度見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 法人税の減少等が考えられるがどのように判断しているか ② 市債が増加しているが、将来的な展望はどのように考えているか <p>2 ごみ処理について</p> <p>(1) ごみの分別収集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現状の問題点はどのようなことがあるか ② 集積所へのごみ出しについて、ルールを守らない人達には、どのように対処しているか <p>(2) 不法投棄について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個人の所有地に不法に投棄された廃棄物について、市としてはどのように関わっているか ② 条例を作り、規制をする考えはあるか
18	木下 克志 (会派のぞみ)	<p>1 市の施設について</p> <p>(1) 県文化センター駐車場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駐車場が狭く収容しきれないときが多々あるがその対策は <p>(2) 県図書館が老朽化しているが移転改築の計画をどう考えているか</p> <p>(3) 県児童クラブは防災センターを活用しているが、部屋が狭い。改築の考えは</p> <p>2 農業施策について</p> <p>(1) 実施状況と効果、今までの取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業生産基盤整備は ② 農業課の現場事務所が開設され5年経過したが、成果の自己評価はどうか ③ 農業後継者対策は ④ 耕作放棄地対策は ⑤ 鳥獣被害対策は

③第3回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成23年9月8・9日

No.	氏名	項目・要旨
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) J R 東海から計画段階環境配慮書の説明があったが飯田市としてはどのように対処していくか</p> <p>(2) 市民への説明並びに市民の多様な意見の反映についてはどのように考えているか</p> <p>2 小中連携・一貫教育について</p> <p>(1) 小中連携・一貫教育推進委員会の役割は何か</p> <p>(2) 小中連携・一貫教育として取り組む教科は何か。何年生から実施するか</p> <p>(3) モデル校が平成23年度において当面取り組むことは何か</p> <p>(4) モデル校以外の学校区では23年度、24年度はどのようなことに取り組んでいくか</p> <p>(5) 24年度はモデル校で実施し、25年度から全中学校区で実施するには時間的にもリスクが大きいと感じるが、どのように考えているか</p> <p>3 ウッドアンドアースについて</p> <p>(1) 設立の目的は何か</p> <p>(2) 飯田市の関わりについてはどのようになっているか</p> <p>(3) 経営再建の目処はどうか</p> <p>(4) 飯田市の林業に関する方針について</p> <p>① 搬出間伐の方向性をどう考えるか</p> <p>② 現在計画中の製材工場との係わりはどうか</p>
2	福沢 清 (会派みらい)	<p>1 飯田市の暴力団対策について</p> <p>(1) 飯田市における暴力団の実態はどうか</p> <p>(2) 長野県暴力団排除条例の施行と市民生活の関連はどうか</p> <p>(3) 飯田市として暴力団排除条例の策定を考えているか</p> <p>2 災害時における災害弱者対策について</p> <p>(1) 一人暮らしの高齢者などについて、災害時の対策はどうか</p> <p>(2) プライバシー保護に関して「災害弱者」対策の問題は</p> <p>(3) 定住外国人の防災対策で連絡網、避難場所の周知はどうか</p> <p>(4) 「災害時多言語支援センター」の役割は</p> <p>3 菱田春草生誕地に対する飯田市の取組みについて</p> <p>(1) 飯田市において春草を振り返り、生誕地を生かす取り組みは、どのようなものがあったか</p> <p>(2) 生誕地整備について飯田市の現在の考え方はどうか</p> <p>(3) 「春草誕生の地」整備を願う市民の会の運動について飯田市は今後どのように支援できるか</p>
3	原 勉 (会派みらい)	<p>1 J R 東海が発表したリニア中央新幹線「計画段階環境配慮書」について</p> <p>(1) 6月に「配慮書」が発表され、長野県分が8月5日に公表されたが、この時期についてどのように考えるか</p> <p>(2) 公表された「計画段階環境配慮書」の内容と、それについてどのように考えるか</p> <p>① 交通アクセスの利便性について</p> <p>② 「飯田現駅併設」案について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	原 勉	<p>③ 水源回避について</p> <p>2 リニア中央新幹線の国、県、J R 東海との協議、交渉の経緯について</p> <p>(1) 地域との十分な協議について</p> <p>① 県との協議、考え方は共有できているか</p> <p>② 地域住民に市の考え方を十分に説明、情報公開をしてきたと思うか</p>
4	原 和世 (会派みらい)	<p>1 損害賠償の議会未提出案件について</p> <p>(1) コンプライアンス委員会の設置の考えは</p> <p>(2) 決算審査の際に対象案件について報告することは</p> <p>2 次期ゴミ焼却施設更新に向けた飯田市の考え方について</p> <p>(1) 改定中の廃棄物処理計画について</p> <p>① ごみ総排出量の見通しは</p> <p>② 生ごみの扱いは</p> <p>③ 廃プラスチックの扱いは</p> <p>(2) 焼却施設建設について</p> <p>① 施設更新の考え方は</p> <p>3 飯田市歴史研究所の運営に関して</p> <p>(1) 歴史研究所の設置意義とその評価は</p> <p>(2) 運営上の課題は</p> <p>(3) 歴史や博物の研究展示に係る施設や機関の総合化の考えは</p>
5	内田 雄一 (日本共産党)	<p>1 リニア中央新幹線について</p> <p>(1) 期待や不安など多様な市民の感情があるが、多くの市民の理解を得られる取組みとしていくために、どのような考えを持っているか</p> <p>① J R 東海などに求める必要のある情報は</p> <p>② 市が市民に対し行う情報開示の必要性の認識はどうか</p>
6	林 幸次 (公明党)	<p>1 がん対策の強化と市民の健康増進について</p> <p>(1) 国のがん対策推進基本計画においては、がん検診受診率の目標が平成23年度までに50%となっているが、飯田市の現況と達成見込みはどうか</p> <p>(2) 「地域健康ケア計画」において取り組むがん対策の内容(目標値)はどうか</p> <p>(3) 乳がん・子宮頸がんの無料クーポン導入による、受診者数の推移、がん発見率の推移はどうか</p> <p>(4) ワクチン接種緊急促進事業による子宮頸がん予防ワクチンの接種がワクチンの供給不足で遅れていたが、再開の見通しはどうか</p> <p>(5) 「がん対策推進室」設置の検討はどうか</p> <p>2 次代を担う青少年育成について</p> <p>(1) 明日を担う青少年育成の基本的考え方・方針は何か</p> <p>(2) 子どもたちの自然体験学習の拡充についての考えはどうか</p> <p>(3) 青少年の海外体験、海外留学の支援策は何か</p>
7	牛山 満智子 (無会派)	<p>1 飯田市の防災計画と災害対応について</p> <p>(1) 災害予防という観点での計画はどのようなか</p> <p>① 地域防災計画は主にどこのセクションが担っているか</p> <p>② 東日本大震災から学んだものは何か</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	牛山 満智子	<ul style="list-style-type: none"> ③ 防災計画の変更及び追加は必要ないか (2) 防災計画に男女共同参画の視点が大事であると思うがどうか (3) 防災計画と林業等産業との関係について <ul style="list-style-type: none"> ① 仮設住宅の準備について、間伐材の利用は考えられないか (4) 後方支援の考え方について <ul style="list-style-type: none"> ① 他の地域が被災した場合の後方支援についてどう考えるか <p>2 子どもたちの健康を守る食卓復活について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中学校における朝食の欠食率について <ul style="list-style-type: none"> ① 現状をどう考えているか ② 保護者への働きかけをしているか ③ 子どもが作るお弁当の日が実施できないか
8	清水 可晴 (市民パワー)	<p>1 脱原発・再生可能エネルギーへの転換について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 脱原発・再生可能エネルギーへの転換について <ul style="list-style-type: none"> ① 市長の政治姿勢は (2) 再生可能エネルギーの推進について <ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光発電の普及について <ul style="list-style-type: none"> ア 今後の普及促進の考えは ② 小水力発電について <ul style="list-style-type: none"> ア 小水力発電の可能性調査の現状は イ 自然エネルギー信州ネットモデル事業への参画は ③ バイオマス利用（発電・メタン精製・堆肥化）システムについて <ul style="list-style-type: none"> ア 導入の可能性は <p>2 長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 広域9テーマで募集している県事業について <ul style="list-style-type: none"> ① 市の対応は (2) 不登校児童・生徒の支援について <ul style="list-style-type: none"> ① NPOなどとの事業協働は <p>3 平和事業の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 満蒙開拓平和記念館建設への支援について <ul style="list-style-type: none"> ① 建設支援の対応は <p>4 市民栄誉に対する表彰について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民栄誉賞の創設について <ul style="list-style-type: none"> ① 制定の考えは
9	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 山岳エコ・ツーリズム事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 南アルプス登山の情報提供への取り組みに関して <ul style="list-style-type: none"> ① 南信州遠山郷・登山案内所立ち寄りどころを開設しての検証は。また、効果は ② 今後登山案内所の拠点として継続的に取り組む考えは (2) 登山道(市道、林道)の危険区域の対応はどうなっているか (3) 易老沢付近のトイレ設置を登山者等が望んでいるが、市としてどう考えているか <p>2 中山間地域における若者定住策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 若者対策について市としての具体的な事業は (2) UIターンの人材確保・人材誘導の推進について市の考えは (3) 地域の基幹産業育成にどう対応していくか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
		(4) 南信濃地区市政懇談会の時、若者から市長へ多くの要望があったがどのような感想を持たれたか
10	村松 まり子 (公明党)	<p>1 高齢者を地域で支える体制づくりについて</p> <p>(1) 当市の単身世帯の増加、一人暮らしの高齢者の実態、認知症患者の実態についてどのような認識を持っているか</p> <p>(2) 一人暮らしの高齢者の見守り体制の取り組み状況は</p> <p>(3) 認知症高齢者の徘徊などの事故を未然に防ぐための対策は</p> <p>(4) 緊急時の迅速・適切な救急活動のため、かかりつけ医や病歴、緊急連絡先の情報等が入った「緊急医療情報キット」を配布してはどうか</p> <p>(5) 三世帯同居を支援する考えは</p> <p>(6) 高齢者の交通事故防止対策の取り組みは</p>
11	伊壺 敏子 (日本共産党)	<p>1 第5期介護保険事業計画策定にあたって</p> <p>(1) 第4期計画の到達状況の見込みについて</p> <p>① 基盤整備の進捗状況はどうか</p> <p>② サービスの需給状況はどうか</p> <p>③ 地域包括センターの利用状況はどうか</p> <p>④ 特養の待機者数は何人が</p> <p>(2) 第5期計画の策定に向けた基本方針について</p> <p>① 基本方針の考え方はどのようなことか</p> <p>② 「日常生活圏域ニーズ調査」の実施状況と調査結果の特徴的なことは何か</p> <p>③ 各々の日常生活圏域の要求をどのように把握し反映させていくか</p> <p>(3) 介護保険法の改正の概要について</p> <p>① 主な改正内容は</p> <p>② 現在の課題の解決になっていると考えるか</p> <p>ア 介護給付費と保険料が連動するしくみは変えられるか</p> <p>イ 介護従事者の処遇改善をどうするか</p> <p>(4) 保険料の設定について</p> <p>① 「都道府県財政安定化基金」の現状と2011年度末の見通しは</p> <p>② 「介護給付費準備金」の現状と2011年度末の見通しは</p> <p>③ 保険料の抑制をどのように考えているか</p> <p>(5) 市の独自事業の実施と拡充について</p> <p>① 現在どのような事業を行っているか</p> <p>② 施設等の居住費・食費などの軽減策を拡充する考えはないか</p> <p>③ ヘルパーの生活援助の継続をすべきと考えるがどうか</p> <p>④ 低所得者でも入居できる住宅の整備を進める必要があるのではないか</p> <p>(6) 地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが機能強化するための、体制保障と十分な財政支援が必要ではないか</p>
12	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	<p>1 21世紀型地域福祉の実現に向けて</p> <p>(1) 飯田らしい地域福祉政策について</p> <p>① 市長の描く飯田らしい地域福祉像は何か</p> <p>② 地域福祉と住民自治について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯澤 啓次	<p>ア 公民館活動など住民自治の伝統をどう地域福祉に生かせるか</p> <p>イ 住民自治の確立をどのように進めるか</p> <p>ウ 自治振興センターを地域福祉の拠点にできないか</p> <p>エ 地域福祉の中に「支えあい経済」を創出できないか</p> <p>(2) 飯田市地域福祉計画について</p> <p>① 地域福祉計画は何故必要か</p> <p>② 策定プロセスでの多様な主体の参画はどうなっているか</p> <p>ア 助け合いマップ作成に偏り過ぎていないか</p> <p>③ 地域福祉計画と地域健康ケア計画との関係は</p> <p>④ 計画実践を通じ「福祉文化」の醸成は可能か</p> <p>(3) 今ある地域福祉政策を実り多くするために</p> <p>① 地域福祉現場の声を吸い上げ、政策に生かす仕組みを構築できないか</p> <p>② 多様な主体、担い手の連携をどう図るか</p> <p>③ 地域福祉を飯田市の最重点政策と位置づけ、全部署で「地域福祉の視点」を持つべきではないか</p>
13	木下 克志 (会派のぞみ)	<p>1 農業施策について</p> <p>(1) 基盤支援の具体策とは何か</p> <p>(2) 農業後継者対策は</p> <p>① 高齢化する農業者の現状と課題は何か</p> <p>② 新規就農者の推移はどうか</p> <p>ア その定着の状況と支援はどうか</p> <p>(3) 耕作放棄地対策は</p> <p>① 耕作放棄地の現況はどうか。また、その推移は</p> <p>ア どの様な対策をしているか。また、今後の課題は</p> <p>(4) 鳥獣被害対策は</p> <p>① 被害状況はどうか</p> <p>ア その対策は（種別毎の対策、地区毎の対策）</p> <p>② 広域的対策に取り組むべきと思うがどうか</p> <p>③ 南アルプスにおけるニホンジカ対策に市はどうか関わっているか</p> <p>2 不法投棄について</p> <p>(1) 不法投棄の実態、環境モデル都市とのギャップをどう考えているか</p>
14	下平 勝熙 (市民パワー)	<p>1 人口問題政策について</p> <p>(1) 第5次基本計画後期計画で、人口指標をどう考えるか</p> <p>① 地域人口の増減は、出生数と死亡数、転入数と転出数の関係で決まる。変動理由は何であるかの分析はどうなっているか</p> <p>② 市独自の推計から得られた将来人口そのものを計画策定の基礎となる人口としたらどうか</p> <p>③ 人口減少の緩和と人口構成の不均衡を是正する取組みをどう考えるか</p> <p>(2) 人口減少・高齢化が飯田市の経済、社会資本の整備・更新に与える影響について</p> <p>① 経済に与える影響はどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	下平 勝熙	<p>② 財政状況の悪化及び財政の制約は生じないか</p> <p>③ 選択と集中・既存のストックを有効に活用する必要性はどうか</p> <p>2 災害ボランティア関連について</p> <p>(1) 飯田市の災害ボランティアに対する考え方は</p> <p>(2) 有事の際の災害ボランティア受け入れの態勢・マニュアルの準備はされているか</p> <p>(3) 災害救援の市民活動憲章の検討の考えは</p> <p>3 補助金行政に関連して</p> <p>(1) 飯田市の補助金の現状と課題は何か。総額と一般会計に占める割合は</p> <p>(2) 補助金依存は、増税・受益者負担増など極めて単純な政治選択を市民自身に求める必要が出てくるが、見解を</p> <p>(3) 補助金に頼らない市政運営を、行政も市民も行う必要があると思うが今後の方針は</p>
15	永井 一英 (公明党)	<p>1 支えあう地域社会づくりについて</p> <p>(1) 人と人との絆が急激になくなりつつある社会にあって、縁を作ることができない人とできている人との格差が広がっていると思われるが実態はどうか。また市の認識はどうか</p> <p>(2) このような状況のなかで、飯田市は、今後の地域福祉のあり方をどのように描いているか</p> <p>(3) 生活現場の課題から</p> <p>① 今後ますます多くなると思われる「買い物弱者」「交通弱者」に対して、市はどのように対処しようと考えているか</p> <p>② 介護などが必要となっても住み慣れた地域に在宅で暮らし続けるため、24時間対応のサービス事業を展開してはどうか</p> <p>2 協働のまちづくりについて</p> <p>(1) 多様な主体との協働のまちづくりを進める上で重要となる役割の明確化について、市はどのように考え、どのように進めるか</p> <p>(2) 飯田市基本計画の後期計画を策定する中で、「協働のまちづくりの推進指針」をまとめる考えはあるか</p> <p>(3) 飯田市内においても、子育て、福祉、環境など様々な分野において市民活動団体やNPOが発足してきていると聞く。その実態はどうか</p> <p>3 これからの新しい福祉社会の担い手について</p> <p>(1) 地域福祉の担い手である民生委員を行政が支援し、連携する仕組みを強化し、民生委員が活動しやすい環境整備に取り組む必要があると考えるがどうか</p> <p>(2) 神戸市の「地域見守り活動推進事業」の取り組みについて、飯田市はどうか考えるか</p> <p>(3) ボランティア、有償ボランティア、あるいは職業としての非常勤特別職、またボランティア活動ポイント制度、更にはソーシャルビジネスなどの役割についてどう考えるか</p> <p>(4) 地域福祉の拠点としての地域包括支援センターについて、多様な市民ニーズに対応できる高齢者の総合相談所として、人員体制の見直しや広報活動の強化が必要ではないか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
16	森本 美保子 (会派みらい)	<p>1 安全対策について</p> <p>(1) 通学・通園道路について</p> <p>① 安全対策としての横断歩道のあり方について、市はどのように考えているか</p> <p>② 交通量の多い場所の、弱者への配慮はどうか</p> <p>2 保健福祉対策について</p> <p>(1) 成年後見制度について</p> <p>① 市の取り組み状況は</p> <p>② 市として、どのように認識しているか</p> <p>③ 成年後見支援センターの設置について、どう考えるか</p> <p>(2) B型肝炎について</p> <p>① 集団予防接種によるB型肝炎が国の責任であると認めたが、市の支援策は</p> <p>3 職員採用について</p> <p>(1) 職員採用のあり方について</p> <p>① 求める職員像について、市の考え方は</p> <p>4 環境対策について</p> <p>(1) 「雨水タンク」について</p> <p>① 利用状況は</p> <p>② 補助金の継続を、どのように考えているか</p> <p>(2) リサイクルについて</p> <p>① 使用しなくなった衣類等の回収事業をリサイクルセンターとのタイアップで展開できないか</p>
17	後藤 荘一 (日本共産党)	<p>1 国の動向と来年度予算編成、及び行財政集中改革プランについて</p> <p>(1) 東日本大震災後の国の財政運営状況や、民主党政権の動向等を見てどう思うか</p> <p>(2) 来年度の予算編成はどのような方針で進めたいか</p> <p>(3) 行財政集中改革プランは来年度以降どう進めるか</p> <p>2 T P P (環太平洋戦略的経済連携協定)について</p> <p>(1) 現在の国の動向を把握しているか</p> <p>(2) 地域の関係者の意見は聞いているか</p>
18	木下 容子 (市民パワー)	<p>1 地域との連携で創り上げる商店街の活性化について</p> <p>(1) 高齢化に対応した商店街づくりについて</p> <p>① 買い物難民と呼ばれる層が増加しているが、その対策はどうか</p> <p>② 一人暮らしや引きこもりの高齢者への支援はどうか</p> <p>(2) 少子化に対応した商店街づくりをどう考えるか</p> <p>(3) 空き店舗対策をどう考えるか</p> <p>(4) 多様な主体と商業との連携でのまちづくりをどう考えるか</p> <p>2 小中学校における猛暑対策について</p> <p>(1) 数年来猛暑日が続く中、熱中症が懸念されるが、各学校での現状はどうか</p> <p>(2) 小中学校では猛暑への対応としてどのような対策をとってきたか</p> <p>(3) 猛暑対策の今後の方向性はどうか</p>
19	清水 勇 (会派のぞみ)	<p>1 災害対応と防災対策について</p> <p>(1) 震災による山津波と水害による崩落について</p> <p>① 危険箇所について認識をしているか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	清水 勇	<ul style="list-style-type: none"> ② 対応をどのように考えているか ③ 今後の防災対策をどのように進めるか (2) 飲料水と下水道について <ul style="list-style-type: none"> ① 災害時における水道管、下水道管の機能維持についてどう考えているか ② 飲料水確保と対応をどのように計画しているか ③ 水洗トイレなど水廻りの対応策をどう考えているか ④ 下水道の防災対策をどのように進めていくか 2 飯田工業高校の跡地利用について現状はどうか <ul style="list-style-type: none"> (1) 現状の取り組み内容はどうか (2) 市としての跡地利用について、現状での構想はあるか (3) 今後の取り組みをどのように考えているか
20	新井 信一郎 (会派のぞみ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 災害対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 南相馬市民に対する飯田市の対応について <ul style="list-style-type: none"> ① 当初の避難受け入れ状況はどうであったか ② 避難している方々の現在の状況は ③ 当地域で活躍いただいたボランティアの状況は ④ 今後の南相馬市との連携は (2) 災害対応・対策について <ul style="list-style-type: none"> ① 現在飯田市は災害協定をどこと結んでいるか ② その内容は ③ 飯田市社会福祉協議会がコーディネートしたボランティアバスの状況は ④ 市民のボランティア活動の取りまとめや日々の育成をどう考えるか ⑤ NPOなど市民活動を支援する課の創設はどうなっているか 2 リニア中央新幹線について <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア飯田駅実現について <ul style="list-style-type: none"> ① 有識者からの駅舎設置提言案では、中心市街地が他地域の事例から見ても成功例が多いと聞く。現飯田駅併設の必要性和理由は ② 飯田下伊那、伊那谷住民への理解をどう進めるか ③ 長野県がJR東海と交渉の窓口と聞くが機能しているか

④第4回定例会代表質問通告表

平成23年12月8・9日

No.	氏名	項目・要旨
1	吉川 秋利 (会派のぞみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について <ol style="list-style-type: none"> (1) 住みたいまち、住み続けたいまちとは何か (2) 経済自立度について現状をどのように受け止めているか (3) リニア中央新幹線飯田駅設置・地域開発等の課題について、今後どの様に対応していくか。また市民との考えの共有についてはどのように進めていくか 2 平成24年度予算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 24年度予算編成における目玉となる事業は何か (2) 24年度の税収見込みについてどのように考えているか (3) 税収見込みに関連した飯田市の起債の方向性をどのように考えるか 3 教育について <ol style="list-style-type: none"> (1) 小中連携・一貫教育について進捗状況と課題は (2) 発達障がい児の現状をどのように捉えているか 4 危機管理について <ol style="list-style-type: none"> (1) 庁舎建設の理念の中に、「市民の暮らしを守る防災・復興の本部拠点とする」とあるが、どのような配慮がされているか (2) 地域防災についてはどのように考え、実施しているか 5 保健福祉について <ol style="list-style-type: none"> (1) T P P 参加において医療制度に影響があるとの報道もされているが、どのように受け止めているか (2) 発達に心配のある乳幼児へは、どのような取組をするか (3) 買い物弱者・交通弱者ということばがあるが、買い物弱者についてはどのように捉えているか 6 産業振興について <ol style="list-style-type: none"> (1) 産官学連携としての大学との協定についてどのように考えるか (2) 人材誘導・人材育成についてどのように考えるか (3) 既存企業の活性化と企業誘致についてどのように進めていくか (4) 三遠南信地域連携ビジョンの進捗とリニア中央新幹線との関連は (5) 有害鳥獣対策の現状と対応は 7 環境について <ol style="list-style-type: none"> (1) 環境文化都市宣言と不法投棄対策については (2) 新エネルギーについて、飯田市としての取組はどのように計画されているか
2	森本 美保子 (会派みらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の市政運営について <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政運営、行政経営(予算編成)で絶対に必要な基本的考え方の「リスクマネジメント」を問う (2) リニア将来ビジョンをどう活かすか (3) 三遠南信地域連携ビジョンをどう活かすか (4) 第5次飯田市基本構想後期基本計画がスタートする。人口の減少に伴う社会環境の大きな変化を予測した予算編成の考え方は (5) 道路や河川などの社会資本整備に対する考え方は 2 産業振興政策について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	森本 美保子	<p>(1) これからはアジアの時代と受けとめて、日本はどう関わっていくか。また、地方としての経済交流をどう進めていくか。現状と将来に向けての施策は</p> <p>(2) 天龍峡百年再生プロジェクト事業の強化推進事業の現状はどうか</p> <p>(3) 新規高卒者等の雇用対策事業の見通しは</p> <p>(4) 入札制度の考え方は</p> <p>3 福祉政策について</p> <p>(1) 地域福祉計画の策定をどう考えているか</p> <p>(2) 持続可能な地域づくりのための高齢者自立支援の考えは</p> <p>(3) 成年後見支援センターの設置についてどう考えているか</p> <p>(4) 認知症対策を強化すべきと思うがどうか</p> <p>(5) 介護関連施設の整備の考え方は</p> <p>(6) 結婚相談事業の広域的な取り組みに対する仕組みづくりと運営のための助成の考えは</p> <p>(7) 生活保護対策と南相馬市被災者支援の現況は</p> <p>4 教育政策について</p> <p>(1) 小中連携・一貫教育について</p> <p>① 地域と学校の連携ができているか</p> <p>② 進めていく過程での問題点はあるか</p> <p>(2) 公民館の耐震についての考えは</p> <p>(3) 文化事業について</p> <p>① 小さな世界都市の実現に向けた人形劇のまちづくりについて</p> <p>ア 人形劇文化のレベルアップに向けた創造支援の考えは</p> <p>イ 人形劇のまちづくりを進めるための仕組みづくりをどう考えているか</p> <p>② 菱田春草関連事業の取り組み状況は</p> <p>5 男女共同参画・多文化共生について</p> <p>(1) 男女共同参画の形成に関わる取り組み状況は</p> <p>(2) 多文化共生について</p> <p>① 飯田国際交流推進協会は、今年で発足22年になるが、多文化共生の活動と果たしてきた役割は</p> <p>② 外国人集住都市会議の成果をどう活かすか</p> <p>6 環境政策について</p> <p>(1) 自然エネルギーにシフトせざるを得ない状況下で、方向性の一つである小水力発電について、市の考え方と取り組み状況は</p> <p>(2) 環境を文化にするためのポイ捨て条例の制定は</p> <p>7 危機管理について</p> <p>(1) 女性の視点を防災活動に取り入れる考えは</p> <p>(2) 避難所や避難訓練の見直しが必要と思われるがどうか</p> <p>(3) 避難場所が学校関係に多いが教職員の対応は</p> <p>8 平和事業について</p> <p>(1) 満蒙開拓平和記念館建設への支援について</p> <p>① 建設支援の状況は</p>
3	後藤 莊一 (日本共産党)	<p>1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について</p> <p>(1) 市長のこれまでの市政運営は自己評価すると、どうであったか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 荘一	<p>① 第5次基本構想・後期基本計画及び行財政改革大綱について</p> <p>ア 第5次基本構想・後期計画の進行管理は前期計画からどう発展させていくか</p> <p>イ 後期計画に基づいて行財政改革大綱が策定されようとしているが、経済財政状況を視野に入れながら、市民サービスや市民生活を低下させない改革プランの策定をすべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 3月の震災や原発事故をどう教訓として捉えているか</p> <p>(3) 来年度は牧野市政2期目の集大成の年となると思うが、予算編成にどう反映させるか</p> <p>① 福祉・医療について</p> <p>ア 後期高齢者医療制度廃止は、民主党の公約になっていたが、いまだに目処が立っていない。本制度導入後の当市の負担はどうか。また、一刻も早い制度の廃止を国に求められたいがどうか</p> <p>イ 第5期介護保険事業計画の策定状況はどうか</p> <p>ウ 市内の各所で買い物困難者が増加し、民生児童委員等様々な団体から要望されている、買い物しやすい公共交通や移動販売などに補助等、支援策を講じたらどうか</p> <p>エ 子どもの医療費は、高校卒業までの無料化を導入したらどうか</p> <p>オ 乳幼児ロタウイルス胃腸炎予防ワクチンが認可されたが、状況の説明と、市の補助の見通しはどうか</p> <p>カ 経済状況の悪化が続いているが、生活保護の申請状況はどうか</p> <p>② 子どもたちの健全な発達のための学校教育について</p> <p>ア 来年度からモデル校でスタートする小中連携・一貫教育について、教師の負担の増大につながり、子どもの教育環境に影響はないか</p> <p>イ 今年度の全国学力テストは、どういう目的で取り組んだか</p> <p>ウ 県は来年度から中学2・3年まで30人規模学級を順次拡大すると表明したが、飯田市としてはどう対応するか</p> <p>エ 子どもたちの安全のため、学校給食（保育園、幼稚園も同様）の食材の放射能を高精度で測定できるよう、整備できないか</p> <p>③ 地域内で循環する経済の構築について</p> <p>ア 実施した他市町村でも利用者が喜び、地域経済の波及効果が現れ、また、市内の建築関係の業者から要望のある住宅リフォーム助成制度を創設したらどうか</p> <p>イ 地域経済活性化プログラムに「経済自立度」の表記がなくなったようだが、方針が変わったか</p> <p>ウ 飯田市の観光の現状はどうか</p> <p>エ 地域農業の現状とこれからの見通しはどうか</p> <p>(4) 来年度の財源の見通しはどうか</p> <p>2 庁舎整備について</p> <p>(1) 事業費の10%縮減をめざすとされているが、削減が具体化されているところはあるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後藤 莊一	(2) 入札について、できるだけ細かく分けて発注するよう考えられないか
4	林 幸次 (公明党)	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 平成24年度の市政経営の方針と予算編成について</p> <p>① 牧野市政 2 期目の最終年度となる平成24年度の市政経営の方針を伺う</p> <p>② 2 期 8 年の集大成となる新年度の予算編成において目指すものは何か</p> <p>(2) 第 5 次基本構想・後期基本計画について</p> <p>① 第 5 次基本構想・基本計画前期 5 年間の総括と成果はどうか</p> <p>② 「リニア将来ビジョン」の実現に向けて、重点的に取組む課題は何か</p> <p>(3) 三遠南信地域連携ビジョンについて</p> <p>① 平成24年度からの新連携組織への移行に、どのようなイメージと具体的戦略を持って臨むか</p> <p>② 三遠南信の県境を越えた連携、防災体制の強化についての考え方はどうか</p> <p>2 リニア中央新幹線を見据えた地域づくりについて</p> <p>(1) 郊外型となる駅周辺の整備方針はどうか</p> <p>(2) 県が策定予定の「新たな総合交通ビジョン」に、当地域の要望をどう盛り込むか</p> <p>3 行財政改革の推進について</p> <p>(1) 新・行財政改革大綱について</p> <p>① 社会的背景が過去とは違う状況にあるが、従来の行革大綱との相違点は何か</p> <p>(2) 地方分権に対応でき、かつ効率的な行政運営のための機構改革・人材登用・定数管理について、市長の認識と見解を伺う</p> <p>4 経済対策・産業振興策について</p> <p>(1) 超円高・デフレによる地域経済や中小零細企業への影響の実態把握はどうか</p> <p>(2) 中小企業に対する支援策と雇用拡大について、今後の対応はどうか</p> <p>(3) 産業振興のために、ものづくりの伝統継承及び新技術の開発が重要であり、その支援策が必要と考えるがどうか</p> <p>5 保健・福祉行政について</p> <p>(1) 介護保険制度改定に向けた取組みについて</p> <p>① 12年間の運用評価と、第 5 期事業運営に当たって 飯田市介護保険事業の力点はどこに置き、どのような介護地域をつくらうとしているか</p> <p>② 法改定により、市町村は介護予防・日常生活支援総合事業を創設できるようになったが、当市の対応はどうか</p> <p>③ 地域支援事業の拠点である地域包括支援センターの機能強化や人員体制はどうか</p> <p>(2) うつ病及び自殺防止対策について</p> <p>① うつ病患者や自殺者の増加に対して、どのような具体的防止策を講じるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	林 幸次	<p>(3) 高齢者への悪質な詐欺や勧誘被害についての現状把握と、高齢者を守る未然防止策は何か</p> <p>6 飯田市立病院の経営について</p> <p>(1) 飯田市民の健康を守り安心して暮らせる地域づくり推進のために、地域医療の現状と今後の取組みはどうか</p> <p>(2) 病院機能評価認定の取組みによる成果はどうか</p> <p>(3) 救急医療の充実のためのドクターカー配備の取組み状況はどうか</p> <p>7 環境政策について</p> <p>(1) 環境モデル都市行動計画改定に向けての基本方針は何か</p> <p>(2) 県が推進する「メガソーラー誘致」に対する飯田市の対応はどうか</p> <p>8 子育てに関する諸施策について</p> <p>(1) 明日を担う子どもたちに何を期待し、教育的課題にどのように取り組むか、その展望を伺う</p> <p>(2) 小中連携・一貫教育の実施に向けて、推進委員会での検討状況と課題はどうか</p> <p>(3) 小規模学校が抱える諸課題の把握とその課題への対応策は何か</p>
5	清水 可晴 (市民パワー)	<p>1 リニア時代を見据えた市長の政治姿勢と市政経営について</p> <p>(1) リニア時代を見据えた地域づくりに対する市長の政治姿勢とまちづくり戦略を問う</p> <p>(2) 新年度予算編成における重点事業は何か。長期財政見通しと財政運営をどう考えるか</p> <p>(3) 経済自立度70%の目標を達成するための強い産業づくりへの支援策をどう考え、T P P参加による影響をどのように考えるか</p> <p>2 保健・医療・福祉・介護の充実について</p> <p>(1) 飯田市立病院の果たす役割と医療の充実及び病院経営について、新病院長の抱負を伺う</p> <p>(2) 介護老人保健施設ゆうゆうの全面稼働の見通しは</p> <p>(3) 成年後見センターの設立について、どう考えているか</p> <p>(4) 幼稚園・保育所指針の見直しと、施設の対応状況はどうか</p> <p>3 快適で安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 有害鳥獣対策の現状と個体調整に対する考えは</p> <p>(2) 住宅リフォーム助成事業の検討状況と実施時期について、どう考えているか</p> <p>(3) 身近な生活関連道路・河川・雨水対策の予算の重点配分をどう考えるか</p> <p>(4) 小型家電等に含まれるレアメタル・レアアースの回収に取り組む考えは</p> <p>(5) 消防団員の現状と確保するための対策はどうか</p> <p>4 リニア中央新幹線の推進と都市計画及び道路等の整備について</p> <p>(1) JR東海が新たに提案した6項目への対応及び関係機関との連携についてどのように受け止めているか</p> <p>(2) 駅周辺及び座光寺スマートインターや道路等の整備に対する考えは</p> <p>5 市長2期目の総仕上げを迎えるにあたって</p> <p>(1) これまでの成果及び今後の抱負を伺う</p>

⑤第4回定例会関連質問通告表

平成23年12月8日・9日

No.□	質 問 者	通 告 内 容
1	湊 猛 (会派のぞみ)	<p>1 三遠南信250万流域都市圏の創造を目指す三遠南信地域連携ビジョンの進捗について</p> <p>(1) 三遠南信自動車道早期開通に向けて、今後の取り組みは</p> <p>(2) 三遠南信地域における広域的産業連携を基本方針のもと進めているが、市として多様な産業の中で特に力を入れる分野は。また、三遠南信アンテナショップの開設を検討すると聞くが市としての対応は</p> <p>(3) 三遠南信地域における防災連携の在り方について、市としての対応はどのようにになっているか</p>
2	井坪 隆 (会派みらい)	<p>1 リニア飯田駅の定義について</p> <p>(1) 現駅との併設によらないリニア飯田駅とは、どのようなイメージを描くか</p> <p>(2) そうした駅に求められる必要条件はなにか</p>
3	内田 雄一 (日本共産党)	<p>1 全国一斉学力テストについて</p> <p>(1) 今年度の実施状況は</p> <p>(2) 来年度の実施方針は</p>
4	村松 まり子 (公明党)	<p>1 自立した大人への成長支援のために</p> <p>(1) 体験活動の意義と在り方は</p> <p>(2) 学校と家庭での読書活動は</p>
5	下平 勝熙 (市民パワー)	<p>1 消防団員の確保に関連して</p> <p>(1) 消防団員所属企業への協力要請はどのようにになっているか</p> <p>(2) 消防団員確保のために待遇改善は考えられないか</p> <p>(3) 常備消防(消防署員)の拡充をすべきであると思うがどうか</p> <p>2 リニアに関連して</p> <p>(1) 交通基本法の制定を国に要望し役割分担を明確にしていくことが必要と思うがどうか</p>

⑥第4回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成23年12月9・12日

No.	氏名	項目・要旨
1	福沢 清 (会派みらい)	1 放置自動車の処理について (1) 自動車放置の現状はどうか (2) 飯田市自動車の放置の防止に関する条例の見直しは (3) 放置自動車の処理時期の明確化と周知はどうか
2	湯澤 啓次 (会派のぞみ)	1 「リニアを活かす地域づくり」を明るい気持ちでスタートさせるために (1) リニア中央新幹線飯田駅実現に向けた取り組みについて ① これまでの取り組みを産みの苦しみとするために、どう総括するか ② これまでに流した汗を明日へつなぐために、私たちがすべきことは何か (2) リニア将来ビジョンの具現化に向けた取り組みについて ① リニアを活かした交流から新たな価値を創造するために大切な視点は何か ② 定住自立圏から小さな世界都市を創造するために大切な視点は何か (3) 市民に分かりやすいリニア時代の都市像の作成について ① 市民参加によるリニア時代の都市像作成の考えはないか ② 南信州地域の個性を活かす都市環状の考えはどうか
3	牛山 満智子 (無会派)	1 未受診・周産期（とびこみ）出産について (1) 飯田下伊那での出産件数について ① 年間どれ位あるか。その内、飯田市立病院での件数は (2) 未受診・とびこみ出産の実態について ① その件数は。未受診でなくても、望まない妊娠と思われる出産はどれ位あると思うか (3) 未受診・とびこみ出産の母親に対する対応について ① 入院中どのような対応をしているか ② 退院時の対応は特別にしているか (4) 子育て支援課家庭児童相談員への相談事例について ① 虐待(特にネグレクト)の相談件数はどれ位あるか ② 虐待については妊娠・出産時からの問題があると思うが、市での対応はどうか 2 国で国土形成計画の検討がされていることについて (1) 大規模災害に備えて、事前に首都機能の一部を地方に移転しておくという構想について市長はどう考えるか (2) 首都機能の一部の受け入れ(誘致)について考えられないか (3) 大学の研究機関等の誘致について働きかけを今からする気はないか
4	永井 一英 (公明党)	1 ものづくりに関わる産学官連携について (1) 産業クラスター政策をどう考えるか (2) 学との連携をどう考え、どのように進めるか (3) 実業系高校や技術専門校と連携した取り組みはできないか (4) リニア中央新幹線飯田駅設置を見据えて、「知のネットワーク」の視点からの取り組みは考えられないか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	永井 一英	2 後期基本計画策定の視点とされた「知のネットワーク」について (1) どのような視点、意図、内容か (2) まちづくりの様々な政策にどのように活かすか
5	木下 容子 (市民パワー)	1 健やかに安心して暮らせるまちづくりについて (1) 第5期介護保険事業計画策定にあたって ① 主な改正の特徴は何か ② 介護報酬単価の見通しはどうか ③ 地域で支え合う制度が強化されるが今後の方向はどうか (2) 地域健康ケア計画について ① 重点プロジェクト実施で見えてきた成果は何か ② 庁内の他部門との連携の状況はどうか ③ 重点プロジェクトに加えるべきものがあるとすれば何だと考えるか 2 人権、平和活動の推進について (1) 外国人集住都市会議について ① 「外国人集住都市会議いいだ2011」を実施しての感想はどうか ② 実施によって明らかになった課題は何か ③ 座長都市として今後の活動をどう進めるか (2) 課の名称について ① 男女共同参画と共に、人権、多文化共生などを担当している課として、現在の「男女共同参画課」の名称がふさわしいか (3) 平和活動をより進めるためには何が必要か
6	伊壺 敏子 (日本共産党)	1 格差社会が広がるなかで、生活困難者をいかに支援していくか (1) 就学援助制度拡充の取り組みはどうなっているか (2) 「国民健康保険税の減免制度」「医療費の窓口一部負担金減免制度」の活用状況はどうか (3) 各地域の自治会費などの徴収において、減免申請による市の補助制度をつくるべきと思うがどうか
7	原 勉 (会派みらい)	1 後期基本計画における市長の政治姿勢は (1) 後期基本計画の中に市長のマニフェストを位置付け、政策実行型の計画とする考えは (2) 基本計画は財源の根拠をもって策定すべきと考えるが財政健全化に向けた具体的取組は 2 当市における業務継続計画（BCP）の取組について (1) 当市の「地域防災計画」において災害発生時に優先して復旧させる重要業務、情報システムは特定されているか (2) 「地域防災計画」と「業務継続計画」の違いは何か (3) 情報システムBCP策定は急務と考えるが具体的な対応は
8	新井 信一郎 (会派のぞみ)	1 子育て支援について (1) 男性の育児（育男（イクメン））について ① 男性の育児現場を把握しているか ② 公共施設に育児設備の充実を図れないか ③ 教育プログラムの充実を図れないか 2 人材育成について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎	(1) 飯田市版AKB48（御当地アイドル）育成について <ul style="list-style-type: none"> ① 地域広報（親善活動）の現状はどうか ② 地域を超えたクラブ活動を充実させる考えはないか 3 公教育現場について <ul style="list-style-type: none"> (1) 学級崩壊について <ul style="list-style-type: none"> ① 現状はどうなっているか ② どのように解決をするか

(9) 本会議傍聴状況

会 期	年 月 日	傍 聴 人 数
第1回臨時会	平成23年 2月10日	1
第1回定例会	平成23年 3月 1日	1
	平成23年 3月 9日	109
	平成23年 3月10日	14
	平成23年 3月24日	17
	平成23年 5月13日	1
第2回定例会	平成23年 5月31日	0
	平成23年 6月10日	9
	平成23年 6月13日	49
	平成23年 6月24日	2
第3回定例会	平成23年 8月31日	1
	平成23年 9月 8日	0
	平成23年 9月 9日	7
	平成23年 9月20日	0
	平成22年 9月30日	0
第4回定例会	平成23年11月30日	0
	平成23年12月 8日	11
	平成23年12月 9日	33
	平成23年12月12日	2
	平成23年12月22日	0
計		257

※第1回定例会 3月9日傍聴人数のうち上郷小学校105人

2 報酬その他

(1) 報酬

役 職	報酬月額	役 職	報酬月額
議 長	499,000円	市 長	876,000円
副議長	436,000円	副市長	720,000円
議 員	407,000円	副市長(特命)	674,000円
		教育長	624,000円
改定日	平成11年4月1日	改定日	平成21年4月1日

報酬額の改定推移

(単位：千円)

種 別	改定年月日									
	61 4.1	62 4.1	63 4.1	1 4.1	3 4.1	4 4.1	5 4.1	7 10.1	9 7.1	11 4.1
議 長	331	339	352	369	413	437	469	485	494	499
副 議 長	278	285	296	310	352	372	410	424	432	436
議 員	259	266	277	290	325	343	383	396	403	407

(2) 期末手当

6月期支給額 報酬×1.45×140/100

12月期支給額 報酬×1.45×155/100

※平成23年4月から平成25年3月までの間の6月及び12月の期末手当は、議長90,000円、副議長78,000円、議員72,000円をそれぞれ支給すべき額から減ずる。

(3) 費用弁償

往復の交通費のみ支給する。

(4) 研修旅費

議 員 1 人 当 り 年 額	
常 任 委 員 会	実 費
議 会 運 営 委 員 会	実 費
海 外 研 修 視 察	所要額の3/4(交付金)

(5) 政務調査費

議員1人当り年額140,000円

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

旅費の区分 職務の区分	車 賃		日 当	宿 泊 料		食 卓 一 夜 に つ き 料
	交通機関 の ある 場 合	交通機関 のない場 合(1キロ メートル につき)		県 内	県 外	
議員、教育委員、選挙管理委員、 公平委員、監査委員、農業委員、 固定資産評価審査委員、選挙長	実 費	円 37	円 2,600	円 11,800	円 13,100	円 2,600

3 定期刊行物

(1) 飯田市議会だより

創刊 昭和46年4月1日

発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)

このほか臨時号)

発行部数 各34,000部

印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均10ページ)

160号より表紙、裏表紙のみカラー刷り

(2) 飯田市議会要覧

発行回数 年1回(例年6月発行)

発行部数 150部

4 市議会会議録

(1) 各定例会及び臨時会の会議録

発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

発行部数 35部

印刷 オフセット印刷(A4版)

(2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

(3) 会議録検索システム

平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能

平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

5 議会事務局の事務分掌

(1) 庶務係

- ア 公印の管理に関する事。
- イ 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- ウ 予算及びその経理に関する事。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関する事。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関する事。
- カ 議長会等に関する事。
- キ 儀式及び交際に関する事。
- ク 議会関係各室の管理に関する事。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関する事。
- コ 議決証明等に関する事。
- サ 物品の出納保管に関する事。
- シ 議会乗用車の管理に関する事。
- ス 他の係の所管に属さない事。

(2) 議事係

- ア 本会議に関する事。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関する事。
- ウ 議会において行う選挙等に関する事。
- エ 公聴会、参考人等に関する事。
- オ 議案その他付議事件に関する事。
- カ 議員の出欠席に関する事。
- キ 議事日程及び諸報告に関する事。
- ク 請願及び陳情に関する事。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関する事。
- コ 議会の傍聴に関する事。
- サ その他議事に関する事。

(3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関する事。
- イ 市政の調査及び研究に関する事。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関する事。
- エ 議員の研修に関する事。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- カ 法令等の調査研究に関する事。
- キ 議会広報に関する事。
- ク 照会事項の回答に関する事。
- ケ 議会図書室に関する事。
- コ 視察に関する事。

平成24年度 飯田市各会計予算

会 計 名		予 算 額		比 較	
		24年度 (A)	23年度 (B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		42,419,000	42,430,000	△ 11,000	△ 0.0
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,943,000	9,698,000	245,000	2.5
	直診勘定	4,900	5,354	△ 454	△ 8.5
後期高齢者医療特別会計		1,143,400	1,102,200	41,200	3.7
介護保険特別会計		9,846,000	9,440,600	405,400	4.3
地方卸売市場事業特別会計		20,300	16,100	4,200	26.1
駐車場事業特別会計		66,000	64,100	1,900	3.0
墓地事業特別会計		16,400	17,000	△ 600	△ 3.5
簡易水道事業特別会計		167,300	171,200	△ 3,900	△ 2.3
下水道事業特別会計		4,365,000	4,722,100	△ 357,100	△ 7.6
介護老人保健施設事業特別会計		648,600	547,400	101,200	18.5
上村デイサービスセンター特別会計		23,700	31,900	△ 8,200	△ 25.7
ケーブルテレビ放送事業特別会計		129,000	125,900	3,100	2.5
病院事業会計		15,533,394	14,648,373	885,021	6.0
水道事業会計		3,290,500	3,136,200	154,300	4.9
特別会計の計		45,197,494	43,726,427	1,471,067	3.4
計		87,616,494	86,156,427	1,460,067	1.7

(単位:千円、%)

主 な 内 容		
		一般
保険給付費 6,665,573 後期高齢者支援金等 1,291,704 介護納付金 544,025 共同事業拠出金 1,021,875 保健事業費 99,485		国保
三穂診療所、上村歯科診療所		
後期高齢者医療広域連合納付金 1,110,942		後高
保険給付費 9,453,510 地域支援事業費 150,733		介護
卸売市場費 15,514		市場
中央、本町、飯田駅、駅西、扇町各駐車場の管理運営 63,420		駐車
霊園の管理運営 9,010 西部霊園整備 3,500		墓地
遠山簡易水道の管理運営 63,105 施設整備 42,920		簡水
公共飯田処理区整備 336,100 松尾浄化管理センター整備 333,390 管渠長寿命化計画策定 36,900 雨水排水事業 33,500		下水
施設管理費 567,038 施設事業費 81,562		老施
総務費 13,809 サービス事業費 9,841		デイ
竜東維持管理費 63,616 遠山郷維持管理費 19,000 公債費 45,044		ケテ
収益的収入 11,804,000 収益的支出 11,766,000 資本的収入 2,686,792 資本的支出 3,767,394 (うち第3次整備事業 1,270,000 医療機器等整備事業 921,200)		病院
収益的収入 1,924,300 収益的支出 1,877,600 資本的収入 525,700 資本的支出 1,412,900 (うち鉛製給水管布設替事業 186,800 緊急連絡管整備事業 200,000 妙琴浄水場更新整備事業 80,000)		水道
		特会
		計

【平成24年度飯田市一般会計 歳入 主な内容と増減内訳】

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	24年度(A)	23年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	12,869,400	13,088,970	30.3	△ 219,570	△ 1.7
2 地 方 譲 与 税	477,000	482,000	1.1	△ 5,000	△ 1.0
3 利 子 割 交 付 金	41,000	46,000	0.1	△ 5,000	△ 10.9
4 配 当 割 交 付 金	20,000	14,000	0.0	6,000	42.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,000	6,000	0.0	△ 2,000	△ 33.3
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,178,000	1,188,000	2.8	△ 10,000	△ 0.8
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	104,000	108,000	0.2	△ 4,000	△ 3.7
8 地 方 特 例 交 付 金	41,000	183,000	0.1	△ 142,000	△ 77.6
9 地 方 交 付 税	11,250,000	11,080,000	26.5	170,000	1.5
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	20,000	21,000	0.0	△ 1,000	△ 4.8
11 分 担 金 及 び 負 担 金	874,774	913,523	2.1	△ 38,749	△ 4.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	576,987	577,439	1.4	△ 452	△ 0.1
13 国 庫 支 出 金	4,231,813	4,612,810	10.0	△ 380,997	△ 8.3
14 県 支 出 金	2,475,902	2,723,484	5.8	△ 247,582	△ 9.1
15 財 産 収 入	35,382	46,503	0.1	△ 11,121	△ 23.9
16 寄 附 金	11,000	11,000	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	1,040,257	764,423	2.5	275,834	36.1
18 繰 越 金	400,000	400,000	0.9	0	0.0
19 諸 収 入	2,293,785	2,190,248	5.4	103,537	4.7
20 市 債	4,474,700	3,973,600	10.5	501,100	12.6
合 計	42,419,000	42,430,000	100.0	△ 11,000	△ 0.0

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,569,000(個人 4,525,000 法人 1,044,000) 固定資産税 5,710,400 軽自動車税 249,200 市たばこ税 628,000 入湯税 4,000 都市計画税 708,800	個人現年 107,000(2.4%) 法人現年 △77,000(△6.9%) 固定現年 △254,000(△4.3%)たばこ 46,000 (7.9%)	市税
地方揮発油譲与税 138,000 自動車重量譲与税 339,000	揮発油譲与税 2,000 重量譲与税 △7,000	地譲
		利子
		配当
		株式
		消費
		自取
		地特
普通交付税 10,400,000 特別交付税 850,000	普通交付税 120,000 特別交付税 50,000	地交
		交通
農林費分担金 90,080(非補助土地改良 90,000) 民生費負担金 776,495(保育料 695,866 老人措置 56,100)	非補助土地改良事業分担金 △25,000 雇用奨励補助金他町村負担金 △20,000	分負
住宅使用料 156,921 ごみ処理手数料 140,871 戸籍等手数料 49,769 休日夜間診療所 42,500 道路河川占用料 38,230 斎苑使用料 35,821 体育施設 22,855 文化会館 20,185 公民館 13,425 川本人形美術館 10,012 幼稚園使用料 5,518	建築確認手数料2,780 斎苑使用料 2,685 道路河川占用料 1,330 戸籍等手数料 △3,572 ごみ処理手数料 △2,586 住宅使用料 △2,165 企業人材確保住宅使用料 △1,920	使手
負担金 民生費 3,357,698(子どものための手当 1,323,038 障害 774,393 生活保護 539,626 民間保育所 390,048 ひとり親家庭 140,720) 衛生費 22,750(保険基盤安定)	障害者自立支援 107,129 障害児支援 90,099 天龍峡整備 68,260 公営住宅整備 30,845 旧飯田測候所整備 26,775 子どものための手当 △563,163 社会資本整備(道路) △80,650 学校太陽光発電 △22,800 学校耐震改修 △19,834	国庫
補助金 民生費 96,040(障害 46,862 子育て支援 33,774 老人 6,500) 衛生費 22,652(環境保全 11,111 成人保健 7,032) 商工費 93,908(天龍峡 88,166) 土木費 562,739(道路 402,600 住宅 106,550 公園 44,159) 教育費 51,407(文化財 33,425 私立幼稚園 8,800)	障害者自立支援 53,563 障害児支援 45,049 子どものための手当 42,719 新規就農者支援 23,250 子宮頸がん等ワクチン接種 △82,096 障害児通所支援 △69,763 緊急雇用 △64,913 ふるさと雇用 △37,781 県議会選挙 △24,173 上大瀬木地区整備 △18,025 重点分野雇用創造 △21,219 林道改良 △16,173 市町村合併特例 △15,466 みんなで支える里山整備 △15,213 発達支援センター委託 △12,982	県費
負担金 民生費 1,093,581(障害 372,817 子どものための手当 290,243 民間保育所 195,024) 衛生費 162,125(保険基盤安定)	障害者自立支援 53,563 障害児支援 45,049 子どものための手当 42,719 新規就農者支援 23,250 子宮頸がん等ワクチン接種 △82,096 障害児通所支援 △69,763 緊急雇用 △64,913 ふるさと雇用 △37,781 県議会選挙 △24,173 上大瀬木地区整備 △18,025 重点分野雇用創造 △21,219 林道改良 △16,173 市町村合併特例 △15,466 みんなで支える里山整備 △15,213 発達支援センター委託 △12,982	財産
補助金 民生費 566,181(民間保育所 266,172 医療給付 212,749 児童健全育成 34,752 障害 30,979) 衛生費 97,999(母子保健 77,017 環境保全 14,222) 労働費 49,190(雇用対策) 農林費 202,751(林業振興 101,995 農政対策 55,846 国土調査 14,850 農業振興 13,804 農地 10,400)	基金利子 1,267 土地建物貸付 △12,397	財産
委託金 総務費 169,044(県民税 161,000)		寄附
財産貸付料 25,122 基金運用収入 5,070 不動産売却収入 5,061		繰入
ふるさと寄附金 5,000 奨学資金 6,000		繰越
財調 400,000 減債 200,000 公共施設 200,000 庁舎92,212 ふるさと 78,000 雇用創出 25,000 地域活性化交付金活用 22,625 過疎自立促進 5,700 財産区 6,570	財調 170,000 減債 100,000 公共施設 100,000 庁舎 88,412 ふるさと 70,784 定住自立圏 △158,200 雇用創出 △99,000	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,701,696(商工制度資金 1,500,000 生活資金 170,000) 雑入 500,309 受託事業収入 87,280	児童発達支援給付金負担 83,817 分収造林 13,894 体育施設移転補償 △35,000	諸入
合併特例債・・・1,664,500 庁舎 497,700 地域振興基金 285,000 病院出資 235,000 道路改良 230,800 公民館耐震整備 134,700 天龍峡整備 107,100 過疎対策事業債・・・148,200 林道 48,800 消防施設 35,900 道路 25,700 公共交通体系 23,700 老人福祉 9,000 義務教育施設 3,300 その他・・・2,662,000 土木 485,200 農林 95,300 教育 75,000 臨時財政対策債 1,960,000	合併特例債 521,900 義務教育施設整備事業債 75,000 ふるさと農道緊急整備事業債 △41,200 過疎対策事業債 △29,800 公共事業等債 △14,700 消防防災施設整備事業債 △14,400 地域活性化事業債 △13,500 辺地対策事業債 △11,300	市債

【平成24年度飯田市一般会計 目的別歳出 主要内容と増減内訳】

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	24年度 (A)	23年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	293,065	329,100	0.7	△ 36,035	△ 10.9
2 総 務 費	4,323,141	3,918,441	10.2	404,700	10.3
3 民 生 費	13,296,819	13,380,723	31.3	△ 83,904	△ 0.6
4 衛 生 費	5,274,565	5,361,436	12.4	△ 86,871	△ 1.6
5 労 働 費	284,298	409,666	0.7	△ 125,368	△ 30.6
6 農 林 水 産 業 費	1,324,530	1,496,334	3.1	△ 171,804	△ 11.5
7 商 工 費	2,504,482	2,326,522	5.9	177,960	7.6
8 土 木 費	4,750,370	4,926,837	11.2	△ 176,467	△ 3.6
9 消 防 費	1,295,406	1,237,485	3.1	57,921	4.7
10 教 育 費	3,801,151	3,805,501	9.0	△ 4,350	△ 0.1
11 災 害 復 旧 費	4,300	4,300	0.0	0	0.0
12 公 債 費	4,926,624	4,893,655	11.6	32,969	0.7
13 諸 支 出 金	300,249	300,000	0.7	249	0.1
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	42,419,000	42,430,000	100.0	△ 11,000	△ 0.0

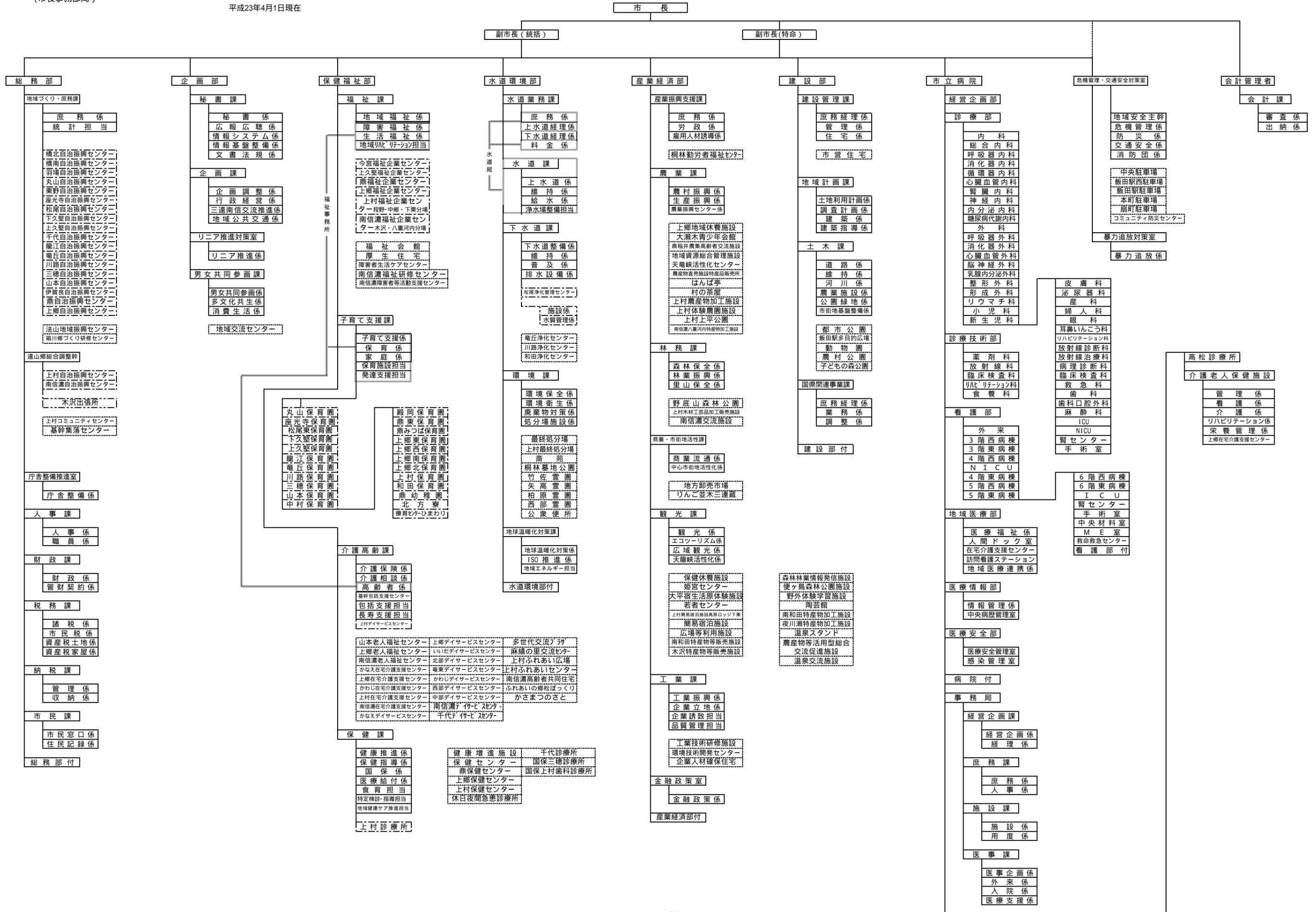
主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 293,065	議員共済負担金 △34,966	議会
庁舎整備 549,900 退職手当 383,291 リニア推進対策 346,119 総務一般管理 134,230 地域自治支援 104,200 住民情報システム管理 103,086 自治振興センター管理 90,749 市民バス等運行 88,587 広域負担金 72,983 課税事務委託 55,248 ケーブルテレビ特会繰出 45,100 文書管理 43,453 賦課費 39,350 広報番組制作放送委託費 37,991 地域交流センター管理 34,841 市長選挙 34,090	庁舎整備 475,500 退職手当 57,172 リニア推進対策 36,549 市長選挙 34,090 防災行政無線戸別受信設備整備 △52,073 オフトーク通信 △32,093 住民記録システム改修 △26,250 県議会議員選挙 △24,173 農業委員会委員選挙 △14,846 市民バス等運行 △13,004	総務
子どものための手当 1,903,525 障害者福祉 1,719,176 介護保険特会繰出 1,406,477 公立保育所 1,335,944 民間保育所運営 1,335,201 後期高齢者医療関係 1,258,766 生活保護措置 719,502 民間保育所施設整備 487,113 児童扶養手当 403,021 養護老人ホーム措置 320,000 障害者医療費給付 299,631 子ども医療費給付 208,629 障害児通所支援 180,199 児童館・クラブ等 130,579 介護老人保健施設特会繰出 166,000	障害者福祉 185,348 障害児通所支援 180,199 民間保育所運営 53,086 児童扶養手当 15,109 子どものための手当 △477,724 特別養護老人ホーム等建設補助 △37,958 民間保育所施設整備 △31,341	民生
病院事業負担金 1,342,000 病院事業出資金 470,000 国保特会繰出 598,140 広域負担金(焼却場) 545,206 水道事業補助金 389,010 ごみ収集処理 281,063 予防接種 236,882 妊婦健診 113,824 簡水特会繰出 106,130 がん検診 102,360 合併処理浄化槽普及促進 64,721 上村診療所運営費 53,363 最終処分場管理 49,806 おひさまのエネルギー推進 49,269	病院事業負担金 40,899 病院事業出資金 40,000 がん検診 23,102 旧最終処分場管理 9,647 予防接種 △155,896 旧最終処分場整備 △22,400 水道事業補助金 △16,214 合併処理浄化槽普及促進 △8,808	衛生
勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理費 44,140 雇用対策 15,758 勤労者共済会補助 11,375 人材誘導 3,823	勤労者福祉センター管理費 3,262 雇用奨励補助(緊急事業) △120,000	労働
農業基盤整備資金償還補助 188,255 林道開設・改良 153,014 非補助土地改良 90,000 市単土地改良 83,880 中山間地域等直接支払 44,701 ふるさと農道 35,960 農作物被害対策 35,632 新規就農者支援 29,277 国土調査 26,227 分収造林 25,807 農業委員会活動推進 22,591 森林整備地域活動支援 21,922 国営造成施設耐震対策 21,060 上大瀬木地区整備 20,200	分収造林 13,894 中山間地域振興プロジェクト 11,839 新規就農者支援 6,915 農作物被害対策 6,546 ふるさと農道 △45,740 上大瀬木地区整備 △35,350 林道開設・改良 △36,380 非補助土地改良 △25,000 みんなで支える里山整備 △15,259 森林公園トイレ整備 △15,000 果樹・野菜等振興 △14,466	農林
中小企業金融対策 1,620,400 天龍峡整備(補助) 204,655 企業立地促進補助 79,673 地場産業等振興 43,200 商工会議所活動運営補助 31,157 南信濃観光施設管理 25,439 遠山郷観光戦略プロジェクト 23,000 観光施設管理 15,516 上村観光施設管理 14,945 自転車のまちづくり 14,000	天龍峡整備(補助) 158,192 企業立地促進補助 51,673 遠山郷観光戦略プロジェクト 20,000 南信濃観光施設管理 △20,130 上村観光施設管理 △11,594 地場産業等振興 △9,560 産業用地整備 △5,000 商業経営支援 △4,922	商工
下水道特会繰出 1,684,700 道路改良(補助) 804,500 道路改良(単独) 278,648 公営住宅整備 228,556 道路維持 440,657 県街路事業地元負担金 120,000 国県関連道路改良 136,479 地域振興住宅整備 96,000 公園整備 113,370 河川改修 64,320 住宅管理 48,230 動物園管理 45,255	道路維持 42,518 公営住宅整備 41,361 県街路事業地元負担金 20,000 道路改良(補助) △112,000 中心市街地(道路) △55,000 中心市街地(河川) △37,000 下水道特会繰出金 △32,700 国県関連道路改良 △12,942	土木
広域負担金(消防) 909,184 消防団運営 177,476 消防施設整備 98,783 災害対策備蓄 27,270	消防施設整備 35,368 災害対策備蓄 23,866	消防
学校給食 330,064 学校教育補助員等雇用 178,242 公民館耐震整備 174,712 学校教育事業 163,500 学校管理一般経費 154,897 社会体育施設管理 150,725 公民館管理 104,538 学校施設大規模改修 100,000 学校施設改修 90,860 美術博物館管理 85,166 旧飯田測候所整備 59,929 要保護・準要保護児童生徒援助 54,435	公民館耐震整備 174,712 学校施設大規模改修 100,000 旧飯田測候所整備 59,929 公民館・文化会館耐震診断 36,855 私立幼稚園施設整備 △116,775 天龍峡テニスコート整備 △115,000 学校施設改修(補助) △89,527 学校太陽光 △52,000	教育
		災害
長期債元金 4,356,597 長期債利子 568,027 一時借入金利子 2,000	長期債元金 73,488 長期債利子 △40,519	公債
地域振興基金 300,000	学術研究振興基金 200	諸支
		予備

【歳出性質別】

	24年度予算額		23年度予算額		増減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人件費	6,018,489	14.2	5,986,937	14.1	31,552	0.5
2 扶助費	7,230,825	17.0	7,242,534	17.1	△ 11,709	△ 0.2
3 公債費	4,926,624	11.6	4,893,655	11.6	32,969	0.7
小計	18,175,938	42.8	18,123,126	42.8	52,812	0.3
4 物件費	5,424,102	12.8	5,457,828	12.9	△ 33,726	△ 0.6
5 維持補修費	518,631	1.2	503,084	1.2	15,547	3.1
6 補助費等	5,483,526	12.9	5,743,920	13.5	△ 260,394	△ 4.5
7 積立金	600,249	1.4	600,335	1.4	△ 86	△ 0.0
8 投資・出資金	470,000	1.1	430,000	1.0	40,000	9.3
9 貸付金	1,720,736	4.1	1,732,063	4.1	△ 11,327	△ 0.7
10 繰出金	5,286,517	12.5	5,281,267	12.4	5,250	0.1
11 投資的経費	4,699,301	11.1	4,518,377	10.6	180,924	4.0
補助	1,974,031	4.7	2,084,029	4.9	△ 109,998	△ 5.3
単独	2,725,270	6.4	2,434,348	5.7	290,922	12.0
普通建設費	4,695,001	11.1	4,514,077	10.6	180,924	4.0
補助	1,974,031	4.7	2,084,029	4.9	△ 109,998	△ 5.3
単独	2,720,970	6.4	2,430,048	5.7	290,922	12.0
災害復旧費	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
補助	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予備費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合計	42,419,000	100.0	42,430,000	100.0	△ 11,000	△ 0.0

単位：千円

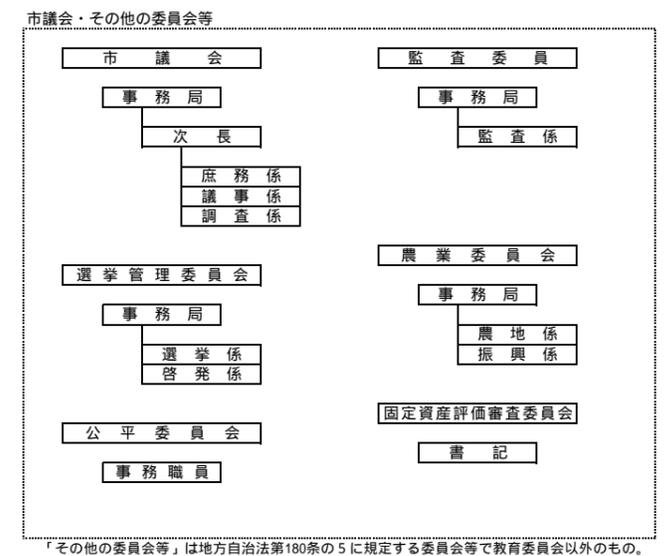
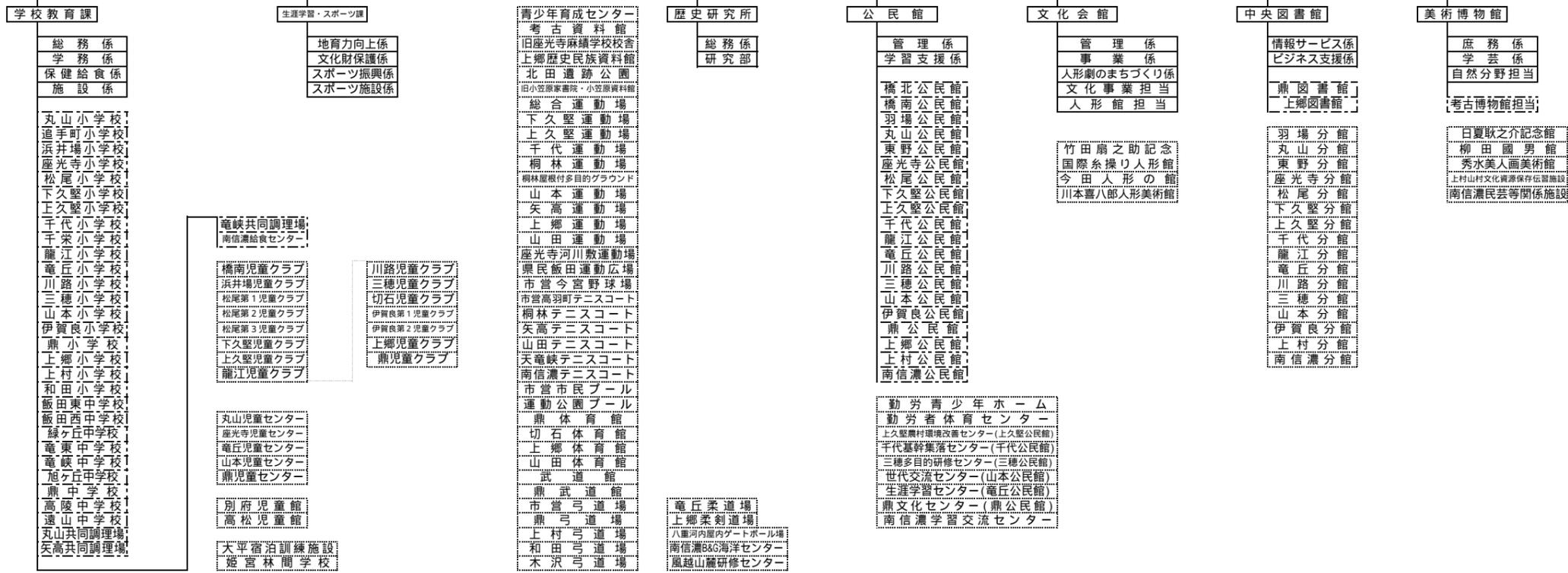
主たる増減の内訳		
退職手当 57,172 市町村共済負担金 17,813 議員共済負担金 △34,966		人件
障害者支援 263,047 障害児通所支援 180,199 民間保育所運営 53,086 子どものための手当 △477,724		扶助
長期債元金 73,488 長期債利子 △40,519		公債
		小計
公民館・文化会館耐震診断 36,855 リニア推進対策 36,579 除雪費 35,550 災害対策備蓄 23,866 がん検診 23,101 市長選挙 14,740 中山間地域振興プロジェクト 11,062 航空写真撮影 10,000 企業誘致推進 9,700 市民バス等運行業務 △72,761 オフトーク通信 △27,093 外国人登録システム改修 △ 26,250 図書館等蔵書データ化 △21,230 里山整備活動支援 △11,336 評価替 △11,932 県議会議員選挙 △9,229		物件
道路 3,050 桐林勤労者福祉センター修繕 2,752 学校給食施設修繕 2,041		維持
市民バス等運行業務 59,678 病院事業負担金 40,899 新規就農者支援 16,510 広域負担金(満蒙開拓平和記念館) 16,957 予防接種 △154,452 雇用奨励補助(緊急事業) △120,000 知的障害者施設訓練支援 △92,914 水道事業補助金・負担金 △17,214		補助
		積立
市立病院出資金		投資
上村振興公社貸付金 △8,500 奨学金貸与 △1,920		貸付
国保 4,745 後期高齢者医療 12,005 介護保険 43,156 地方卸売市場 100 簡易水道 △6,670 下水道 △32,700 介護老人保健施設 △16,000 上村デイ △8,300		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
天龍峡整備 162,244 民間保育所施設整備 151,766 旧飯田測候所整備 59,500 公営住宅整備 44,375 ポケットパーク整備 9,000 私立幼稚園施設整備 △116,775 中心市街地(道路) △112,000 学校施設改修 △89,527 社会資本整備(道路) △55,000 学校太陽光発電 △52,000 中心市街地(河川) △37,000 上大瀬木地区整備 △35,350 林道改良 △25,760		補助
庁舎整備 475,500 公民館耐震整備 174,712 学校施設大規模改修 100,000 企業立地促進補助 51,673 耐震性貯水槽整備 20,900 分収造林 13,894 高齢者住宅リフォーム補助 13,000 民間保育所施設整備 △ 183,107 天龍峡テニスコート整備 △115,000 防災行政無線受信整備 △52,073 ふるさと農道整備 △45,740 民間老人福祉施設整備 △37,958 非補助土地改良 △25,000 旧最終処分場整備 △20,200 南信濃観光施設改修 △18,000 森林公園トイレ整備 △15,000 みんなで支える里山整備 △15,259		単独
		災害
		補助
		単独
		予備



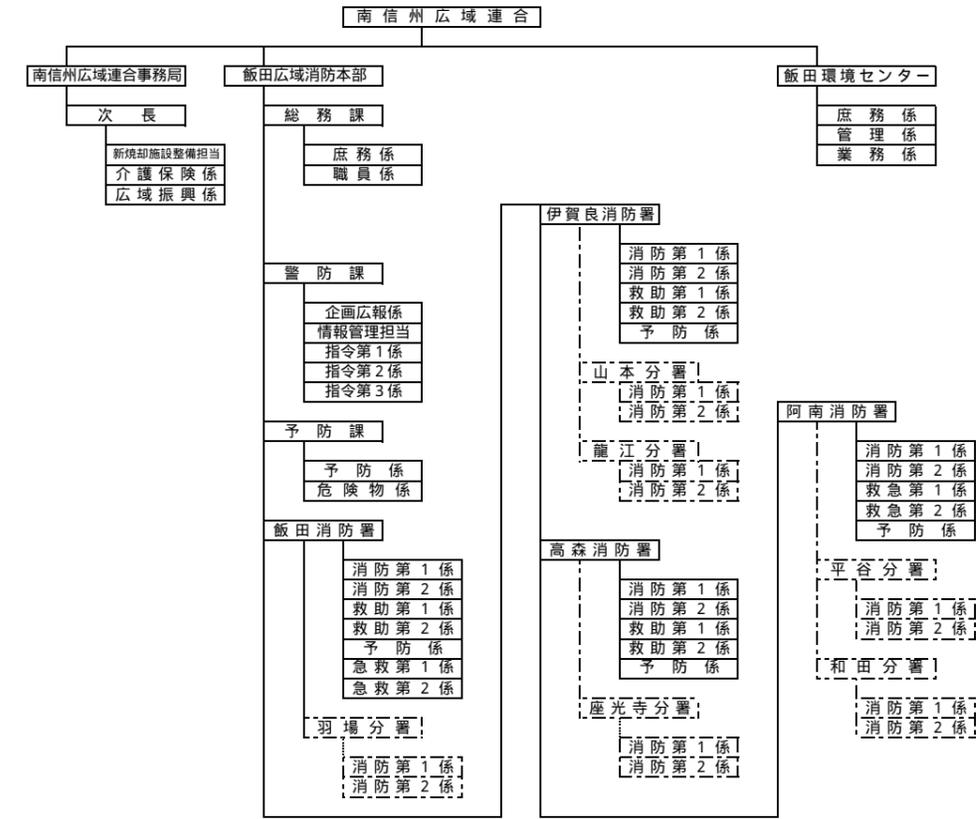
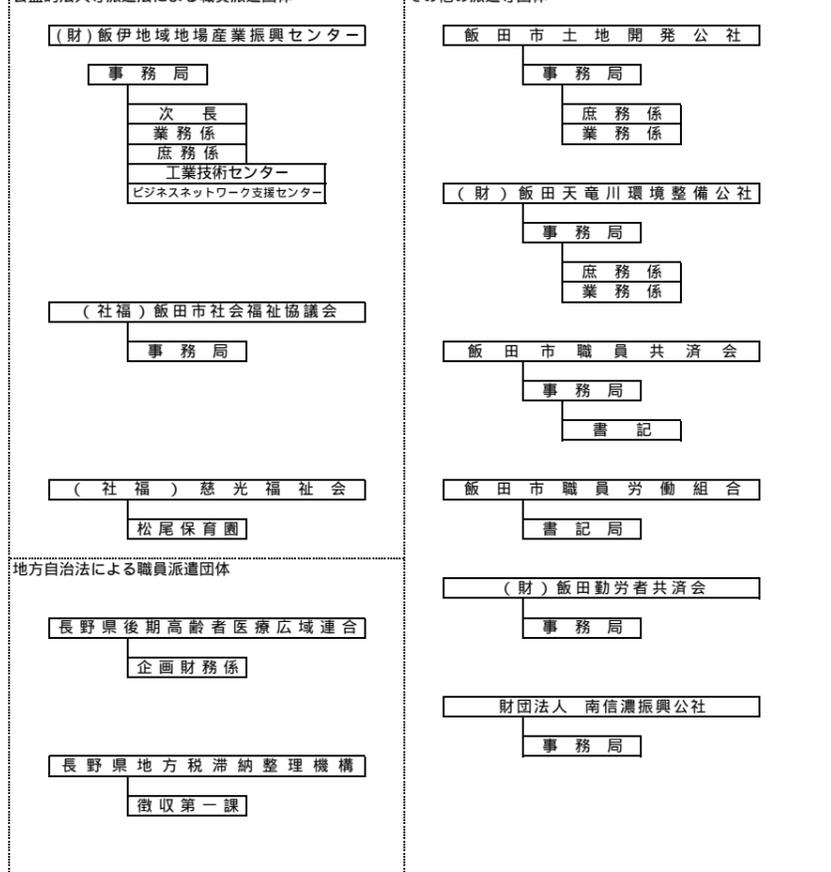
教育委員会

教育長

教育次長



派遣等



(飯田市関係職員数)	
飯田市	正規 1,455 人
公益的法人等派遣法による派遣	
(財)飯伊地域地場産業振興センター	3 人
(社福)飯田市社会福祉協議会	2 人
(社福)慈光福祉会松尾保育園	2 人
飯田市南信濃振興公社	人
飯田商工会議所	人
地方自治法による派遣	
長野県後期高齢者医療広域連合	1 人
長野県地方税滞納整理機構	1 人
その他	
飯田市職員労働組合	2 人
飯田市職員計	1,466 人
(広域連合への派遣職員数)	
南信州広域連合事務局	6 人
飯田広域消防本部	1 人
飯田環境センター	2 人
広域連合への派遣職員計	9 人

注1 飯田市の組織機構は、飯田市組織規則に基づく。
注2 職員数は、正規職員数のみ、臨時・非常勤職員を含まない。
注3 職員数は、兼務職員を含まない。
注4 職員数は、市長、副市長、教育長を含まない。
注5 職員数は、広域消防からの出向職員を含む。

職員の定数

(平成24年4月1日現在)

区 分	定 数 (人)	実 数 (人)
市長の事務部局の職員	810	697
議会の事務部局の職員	9	6
教育委員会の事務部局及び教育機関の職員	158	123
選挙管理委員会の事務部局の職員	5	3
公平委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
監査委員の事務部局の職員	4	3
農業委員会の事務部局の職員	25 (市長部局職員兼務14)	6
固定資産評価審査委員会の事務部局の職員	2 (市長部局職員兼務2)	0
病院事業の職員	650	633
水道事業の職員	55	20
小 計	1,720	1,491
市長部局付派遣職員		
(財)南信州・飯田産業センター		3
(社福)飯田市社会福祉協議会		1
長野県後期高齢者医療広域連合		1
長野県地方税滞納整理機構		1
飯田市職員労働組合専従		2
小 計		8
派遣職員(自治法派遣)		
南信州広域連合事務局		6
飯田広域消防本部		-
飯田環境センター		2
小 計		8
合 計		1,507

都市宣言

1 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年6月26日

飯 田 市 議 会

2 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年6月29日

昭和61年6月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

3 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年9月21日

飯 田 市 議 会

4 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年9月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

5 シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口1万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第1位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなお一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

6 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年6月28日

飯 田 市 議 会

7 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年6月29日

飯 田 市 議 会

8 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

9 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合ってあらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

10 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

記

- 1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課 扱いとする。
- 2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。
- 3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

甲	飯田市長	清水重美
乙	津山市長	生末敏夫

友好都市締結

盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県
飯田市
市長 松澤太郎

フランス共和国アルデンヌ県
シャルルヴィル・メジエール市
市長 ロジェ・マス

飯田市の主要年表

年 月	事 項
昭和12. 4	飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人
5	第1回市議会議員選挙
6	飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙
14. 11	市瀬泰一氏第2代目市長に就任
17. 5	市議選翼賛選挙で無投票当選
18. 8	伊那電鉄など飯田線となる
19. 12	県立飯田保健所開所
21. 4	戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人
7	飯田駅前大火
22. 4	公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に
4	飯田市大火 市街地の3分の2を焼失
23. 3	飯田市消防本部、消防署発足
26. 12	飯田市立病院開院
28. 11	りんご並木の植付始まる
29. 4	飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝
10	飯田市公民館、復興記念館開館
30. 4	市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任
31. 9	飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足
31. 10	合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選
32. 4	松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる
34. 7	飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目
35. 7	飯田市民プール完成
36. 3	川路村を合併
6	梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人
37. 10	建設大臣伊那谷の災害地を視察
11	飯田市役所新庁舎落成
38. 10	低開発地域工業開発地区に指定される
12	りんご並木後援会発足
39. 3	龍江村、千代村、上久堅村を合併
40. 7	市立病院新館落成
9	組合立、飯田衛生センター落成
12	老人ホーム川路寮開設
41. 1	市議会、地財法準用を議決
10	中央自動車道杭打式（今宮球場附近）

年 月	事 項
昭和42. 5	飯田勤労者福祉センター開館
9	飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決
11	りんご並木15周年記念式典を行う
11	市制施行30周年記念式典を行う
43. 4	飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足
5	りんご並木、NHK総合テレビで放映される
8	飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足
10	市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に
44. 3	岡山県津山市と市制業務提携
8	36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯
11	飯伊地域広域市町村圏協議会発足
45. 2	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足
11	大平部落解散式
11	飯田卸売団地開設
46. 3	飯田市・鼎町・上郷町消防組合本部開設
6	名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才
6	市議会、生活改善推進を議決
8	りんご並木の碑除幕式
47. 4	飯田文化会館竣工
10	市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に
49. 3	飯田市農業協同組合発足
5	松川ダム完成、妙琴浄水場通水式
50. 1	飯田中央農業協同組合発足
6	飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成
8	中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間）
51. 2	鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする
3	市議会議員定数を30人に削減
10	松尾終末処理場供用開始
11	飯田市公民館竣工
52. 5	飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成
6	市民憲章制定
53. 10	第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場）
12	飯田市基本構想、基本計画策定
54. 7	飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける
8	人形劇カーニバル始まる
12	飯田市墓地霊園、桐林に完成

年 月	事 項
昭和55. 3	市営弓道場移転完成
4	橋北コミュニティ防災センター完成
56. 4	飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入）
9	鼎町早期に合併したいとの回答
57. 3	飯田市武道館完成
7	上郷町に再度合併の要請
8	飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る
11	中央自動車道西宮線全線開通
12	飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決
58. 1	第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる
3	飯田市保健センター完成
9	台風10号大きな被害を受ける
59. 2	座光寺小学校完成
3	橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成
8	飯田市と鼎町との合併調印式
12	鼎町を合併
60. 3	天竜川治水基本協定の調印
4	旭ヶ丘中学校の開校
4	鼎町と合併後初の市議選
5	「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立
10	「美術博物館」基本構想委員会発足
61. 3	座光寺公民館・支所完成
8	人形劇アジア会議開催
10	飯田消防署新庁舎完成
12	北方地区土地区画整理事業着工
62. 1	飯田市立病院新副院長人事発令
2	飯田工業技術センター完成
3	イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工
4	飯田コンピュータ専門学校開校
8	飯田市子ども議会開催
10	市制施行50周年記念式典
11	りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付
12	飯田市基本構想、基本計画策定

年 月	事 項
昭和63.	3 市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工
	6 飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決
	7 第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置
	8 シャルルビル・メジェール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催
	10 飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に
平成元.	3 桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成
	6 桐林運動広場完成
	8 アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表
1.	9 伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施
	10 飯田市美術博物館開館
	11 飯田市立病院、総合病院となる
	12 飯田勤労者総合福祉センター完成
2.	3 松尾公民館・支所完成
	4 名勝天竜峡温泉利用開始
	8 新病院本体建設着工
	11 新し尿処理場着工
	12 県議定数（飯田地区）2人から3人に
3.	1 市営駐車場30分無料化
	2 テレトピアモデル都市に指定
	3 千代診療所完成
	7 飯田市斎苑完成、動物炉が新設される
	9 今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演
	10 飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される
	12 飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生
4.	2 天竜川治水対策事業起工式が行われる
	3 飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工

年 月	事 項
平成4. 3	飯田市有線放送局閉局
4	オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園
6	オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成
7	新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生
9	新市立病院竣工式
10	国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始）
12	飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される
5. 1	地方拠点都市整備計画策定室設置
2	丸山羽場第2地区区画整理事業起工式
3	男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工
4	市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる
6	飯田駅前にアイパーク竣工
7	上郷町を合併し、人口が106千人となる
8	人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える
10	飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所
12	飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける
6. 2	三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工
3	三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工
4	今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託
6	ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成

年 月	事 項
平成6. 9	飯田市議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問
10	飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工
12	国土利用計画（飯田市計画）策定議決
7. 2	中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定
4	北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館
7	飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始
8	戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月）
10	「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活）
12	飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更
8. 2	天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演
3	市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決
4	飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年
5	矢高共同調理場竣工
6	人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決
7	市役所組織機構改革が実施される（7月1日より）
12	さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定
9. 2	ハートヒル川路竣工
4	市制施行60周年
5	市議会改選
5	市誌編さん委員会誕生
7	太陽光発電に無利子融資

年 月	事 項
平成9. 7	エコタウン地域に指定される
8	全国夏期巡回ラジオ体操会
10	世界地方都市十字路会議
12	J Aみなみ信州発足
平成10. 2	市民バス運行開始
2	長野オリンピック冬季競技大会開催
3	長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加
3	議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決
4	天竜川治水対策・龍江側工事完成
6	飯田市役所ISO14001を取得する方針決定
	第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞)
8	第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催)
	第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催
平成11. 3	市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告)
	病院問題特別委員会審査終了
	飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン
	りんご並木リニューアル
4	南信州広域連合発足
7	よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる
12	ごみ処理費用負担制度開始
平成12. 1	I S O 14001認証取得
3	市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告)
4	介護保険制度がスタート
7	丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成
10	三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ
平成13. 1	観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る
3	政務調査費の交付に関する条例の制定
4	市議会改選
7	橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成
8	地域交流センター「りんご庁舎」オープン
10	いいだFM開局
11	りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる

年 月	事 項
平成14.	4 平成記念かざこし子どもの森公園開園
	9 天竜川治水対策事業完成
	10 菱田春草作「菊慈童」を購入
平成15.	1 ISO14001自己適合宣言
	3 市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位
	5 南信州グリーンツーリズム特区取得
	8 飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立
	10 りんご並木50周年記念事業
	12 飯田市歴史研究所オープン
平成16.	1 橋南第2地区市街地再開発ビル着工
	2 第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催
	3 オーライ!ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞
	3 飯田お練りまつり盛大に開催
	5 「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足
	5 第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催
	6 自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞
	7 市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける
	10 飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生
平成17.	4 地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転
	6 国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催
	7 高校統廃合問題に関連し、鼎公民館で「高校改革シンポジウム」を開催
	10 上村及び南信濃村と合併
	10 日独地域国際化サミットを飯田市で開催
平成18.	4 飯田やまびこマーチ20回記念大会 結いターンキャリアデザイン室を設置
	6 一般廃棄物最終処分場(千代地区)の建設工事開始
	9 自治基本条例の制定
	10 橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン
平成19.	3 第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催
	4 自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催
	11 南信濃地域交流センター完成

年 月	事 項
平成20.	<p>4 三遠南信自動車道飯喬道路 1 工区（飯田山本IC～天竜峡IC）が供用開始</p> <p>6 天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン</p> <p>8 北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場</p> <p>人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催</p> <p>アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了</p> <p>10 飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元の旬の農産物の販売や地域への産地ツアーを企画</p>
平成21.	<p>1 飯田市が内閣府から環境モデル都市に選出</p> <p>3 グリーンバレー千代（最終処分場）竣工</p> <p>4 市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生</p> <p>5 オーケストラと友に音楽祭開催</p> <p>7 飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式</p> <p>8 市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される</p> <p>10 飯田北部地区の農免道路が開通（上郷丹保地区～高森町下市田地区）</p> <p>低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始</p> <p>11 新型インフルエンザが流行</p>
平成22.	<p>2 メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力㈱で共同建設することについて協定を締結</p> <p>3 飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加</p> <p>4 リニア中央新幹線推進本部設置（市役所内）</p> <p>5 介護保健施設ゆうゆう 竣工</p> <p>6 日本の環境首都コンテスト2009（第9回）で飯田市が総合2位（昨年3位）</p> <p>7 集中豪雨による土砂災害（南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害）</p> <p>9 天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活</p> <p>10 定住自立圏全国市長村長サミット2010in南信州が開催</p>
平成23.	<p>1 メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始</p> <p>2 飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立</p> <p>3 東日本大震災発生。避難者の受け入れ</p> <p>3 飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入</p> <p>5 国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、リニア中央新幹線の整備計画を決定</p> <p>6 三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催</p>

年 月	事 項
平成23. 6	日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞
9	フランス シャルルヴィル・メジール市に「飯田通り」誕生
9	菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催
12	第5次飯田市基本構想後期基本計画策定

飯田市自治基本条例

目次

前文

- 第1章 総則（第1条－第3条）
- 第2章 自治の基本原則（第4条－第7条）
- 第3章 市民等の役割（第8条－第10条）
- 第4章 地域自治（第11条－第15条）
- 第5章 市政運営（第16条－第21条）
- 第6章 市議会の役割（第22条－第27条）
- 第7章 市の執行機関の役割（第28条－第34条）
- 第8章 住民投票（第35条）
- 第9章 条例の見直し（第36条）

附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、本市の自治の基本的な原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

（条例の位置付け）

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人（以下「住民」といいます。）、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。

第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べることができます。

3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が生かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織（地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。）の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を発揮することができるものとします。

3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報の保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

(開かれた議会運営)

第23条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。

(市議会議長の責務)

第24条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。

2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(市議会議員の責務)

第25条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。

2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。

3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

(政策の調査、審議のための機関)

第26条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。

2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

(市議会事務局職員の責務)

第27条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。

2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第7章 市の執行機関の役割

(市長の責務)

第28条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。

2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

(市の執行機関の責務)

第29条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

(市の執行機関の組織運営)

第30条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。

2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(説明責任)

第31条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民にわかりやすく

説明する責任を果たします。

- 2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第32条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

- 2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第33条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

- 2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第34条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

- 2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第8章 住民投票

(住民投票)

第35条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

- 2 市は、住民投票の結果を尊重します。
- 3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

第9章 条例の見直し

(条例の見直し)

第36条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第1条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成19年4月1日から施行します。

飯田市市歌

堀内 敬三 作曲
宮脇 至 作詞
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峰にかがやくしらゆきを

高き心のすがたとあおぎ

かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を

清き命の泉となして

希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町

協す力にいぶきも新た

のびよ久遠に我らが飯田

飯田市歌

犬塚 利国 作詞
飯田 景応 編曲

一、山紫に 水明らかに

生業栄え 人皆和して

希望の光 遍く充てり

げに飯田市の 輝く天地

二、南信濃の 陽は照り映えて

四季行楽に 名を負うところ

観光都市の 誉れも添ひて

げに飯田市の 輝く前途

三、落葉に残す 千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り

大儒の松風 今なお高し

げに飯田市の 輝く誇り

四、ああ天恵に 幸負う我等

協同進取の 旗なびかせて

目指すは彼方 久遠の理想

げに飯田市の 輝く使命

飯田市議会要覧 平成24年度版

発行日 平成24年6月発行

編集・発行 飯田市議会事務局

〒395-8501

長野県飯田市大久保町2534番地

TEL 0265-22-4523 (直通) 0265-22-4511 (内線2613)

FAX 0265-53-8821

e-mail igikai@city.iida.nagano.jp

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>